

平成 30 年度
九州工業大学附属図書館
アンケート調査報告書

平成 30 年 12 月 25 日
九州工業大学附属図書館

1. 調査の実施

目的と方法

- ◆ 利用者サービス向上および九州工業大学年間計画等、事業計画の遂行確認を目的とする。
- ◆ 調査方法は Web によるアンケート調査とした。

調査期間

- ◆ 平成 30 年 8 月 1 日（水）～8 月 30 日（木）

調査対象

- ◆ 工学部（戸畑）、情報工学部（飯塚）、生命体（若松）の全 6,302 人（内訳学生 5,649、教職員 653：平成 30 年 5 月 1 日現在）。

周知方法

- ◆ メールおよびガルーンによる URL 一斉送信。
- ◆ 教員・大学院生・卒論着手生へは各学科事務室へ依頼しメール転送。
- ◆ 図書館内、図書館前掲示板、カウンターでの案内。
- ◆ Web 掲載。

回答方法

- ◆ Web による回答。

【参考】前回（平成 28 年度実施）九州工業大学附属図書館アンケート調査の概要

- 実施期間：平成 28 年 1 月 22 日（金）～ 2 月 24 日（水）
- 調査対象：工学部（戸畑）、情報工学部（飯塚）、生命体（若松）の全 6,364 人（内訳学生 5,793、教職員 571：平成 27 年 5 月 1 日現在）。
- 回答方法：原則 Web による回答とし、紙媒体での回答は補助的に使用した（回収後、図書館スタッフにより Web へ入力を行う）。
- 有効回答数：1,155 件（対象全体の 17.9%）。
- 報告資料：平成 28 年度九州工業大学附属図書館アンケート調査報告書
- [https://www.lib.kyutech.ac.jp/library/sites/default/files/2015%20 図書館アンケート調査報告書.pdf](https://www.lib.kyutech.ac.jp/library/sites/default/files/2015%20図書館アンケート調査報告書.pdf)

2. 調査の結果

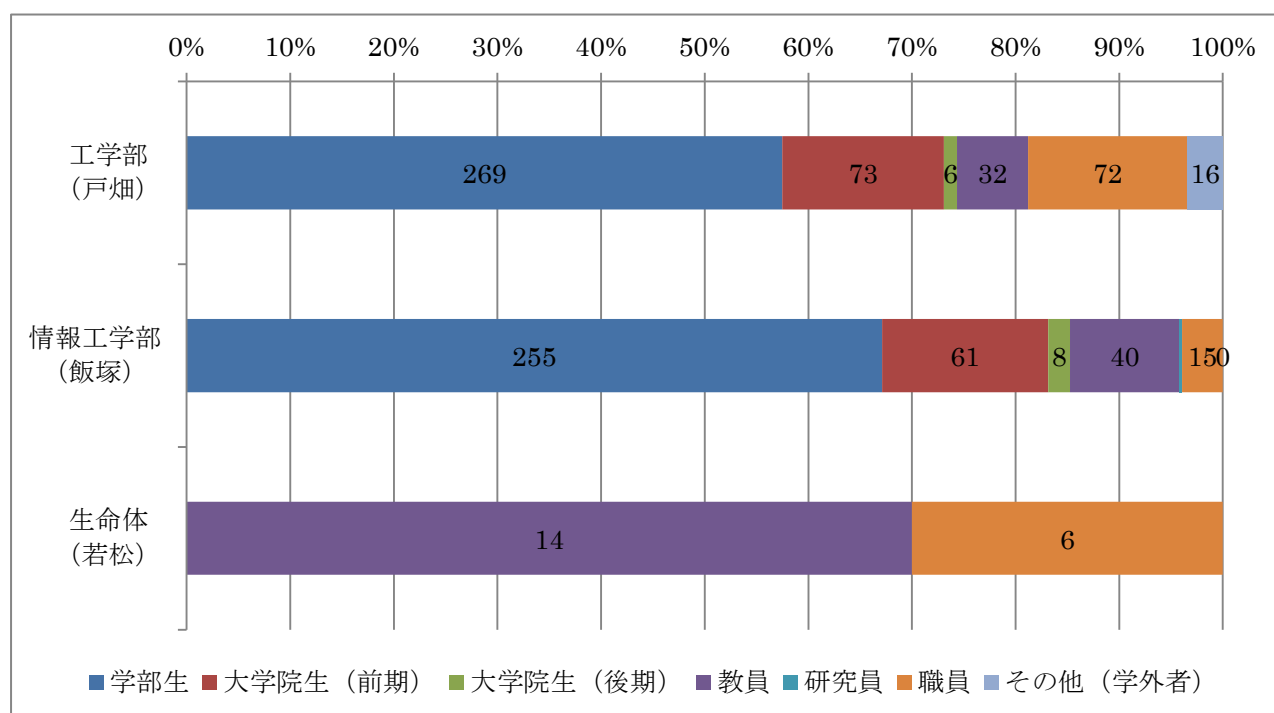
2-1. 基本調査項目

◆ 有効回答数は、868 件、調査対象全体の 13.8%であった。

表 1. 利用者区分・所属別回答者数内訳（人）

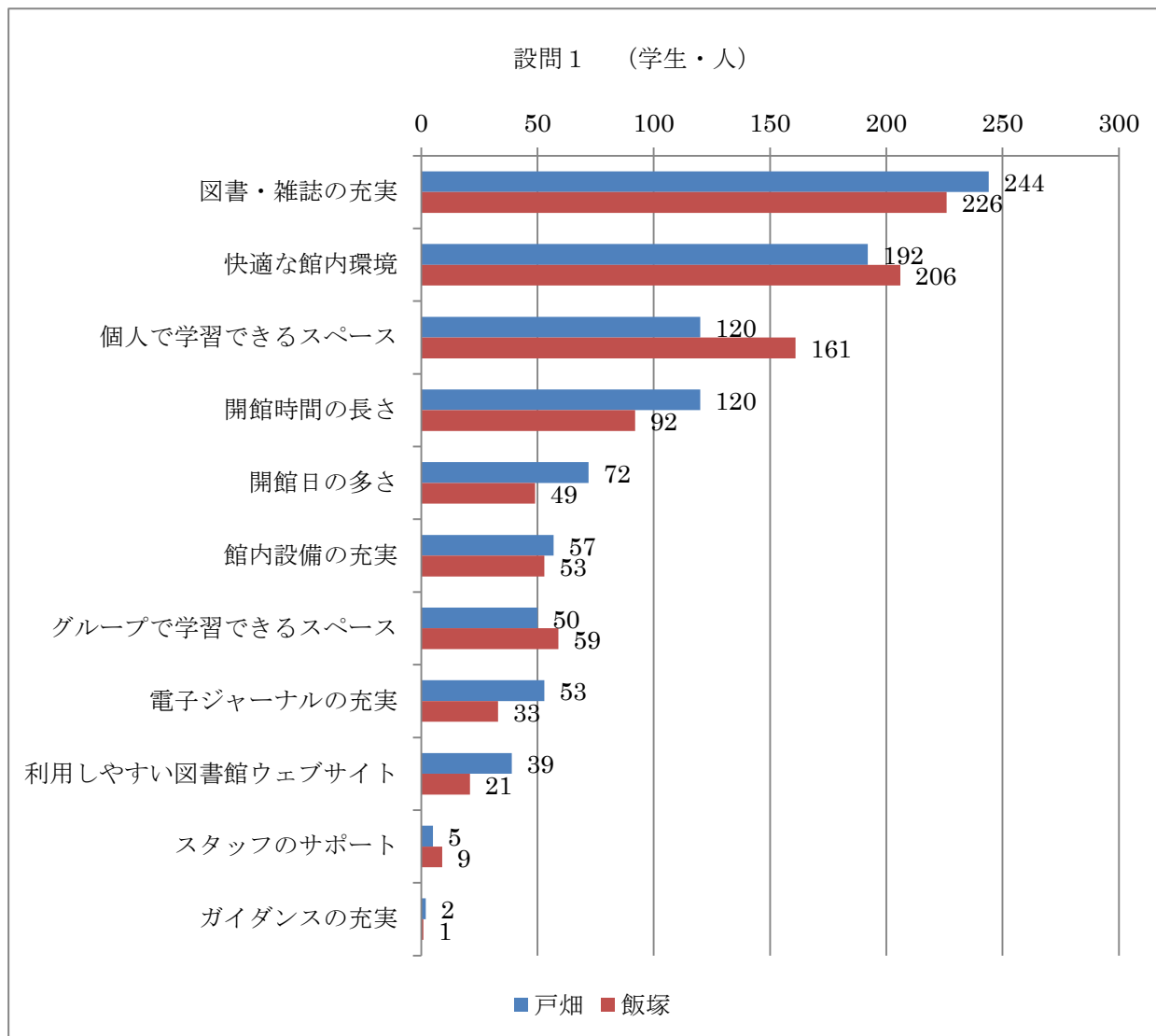
利用者区分	工学部 (戸畑)	情報工学部 (飯塚)	生命体 (若松)	合計	学生・ 教職員数	回答者数 割合
学生	348	324	0	672	5649	11.9%
学部生	269	255	0	524	4117	12.7%
大学院生(前期)	73	61	0	134	1230	10.9%
大学院生(後期)	6	8	0	14	302	4.6%
教員	32	40	14	86	653	27.6%
研究員	0	1	0	1		
職員	72	15	6	93		
その他(学外者)	16	0	0	16		
合計	468	380	20	868	6302	13.8%

図 1. 利用者区分・所属別回答者数内訳図（%）



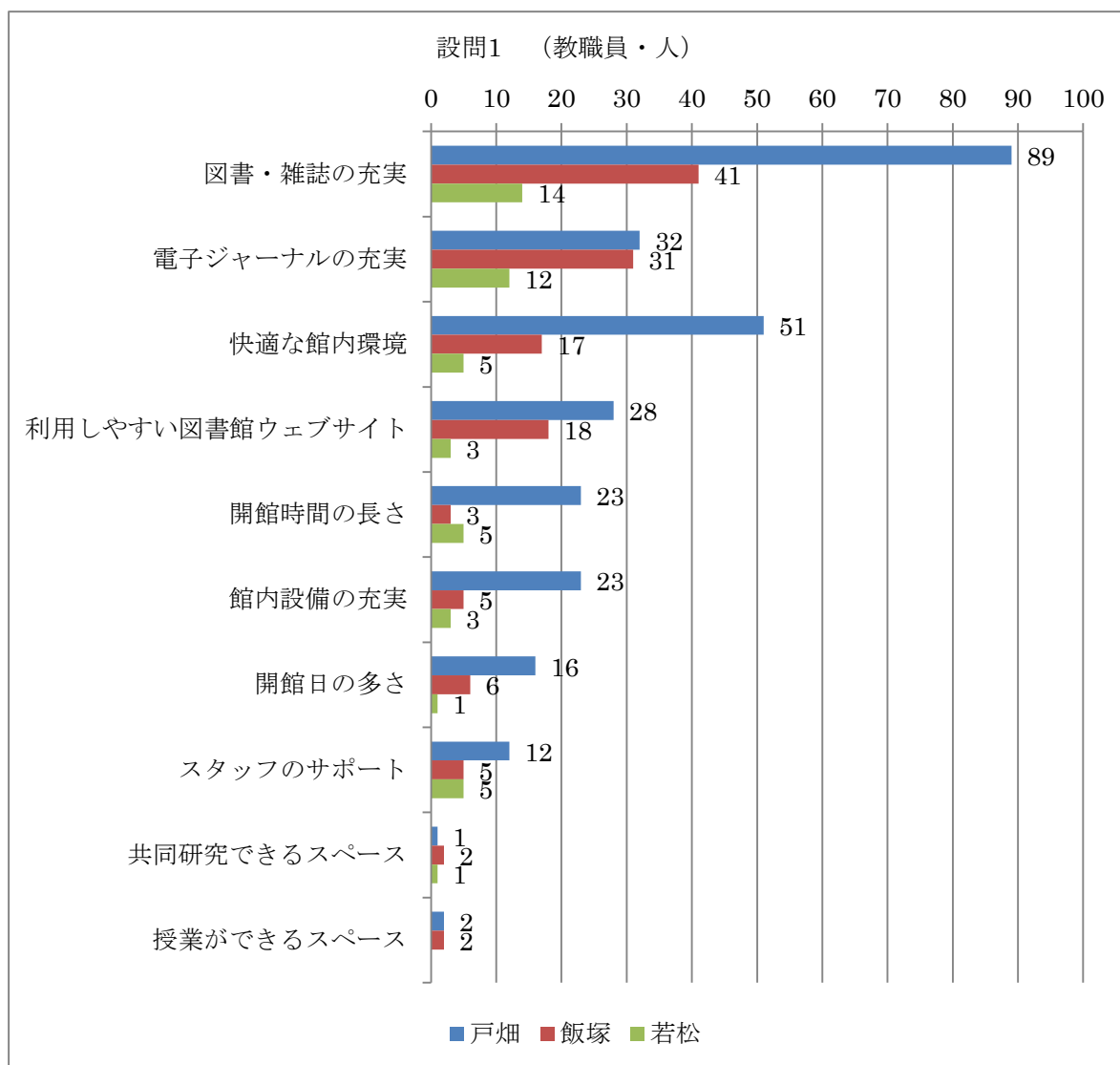
2-2. 図書館の提供するサービス

設問1 図書館のサービスの中で重視するものはどれですか？3つまで選んでください。



その他の意見：

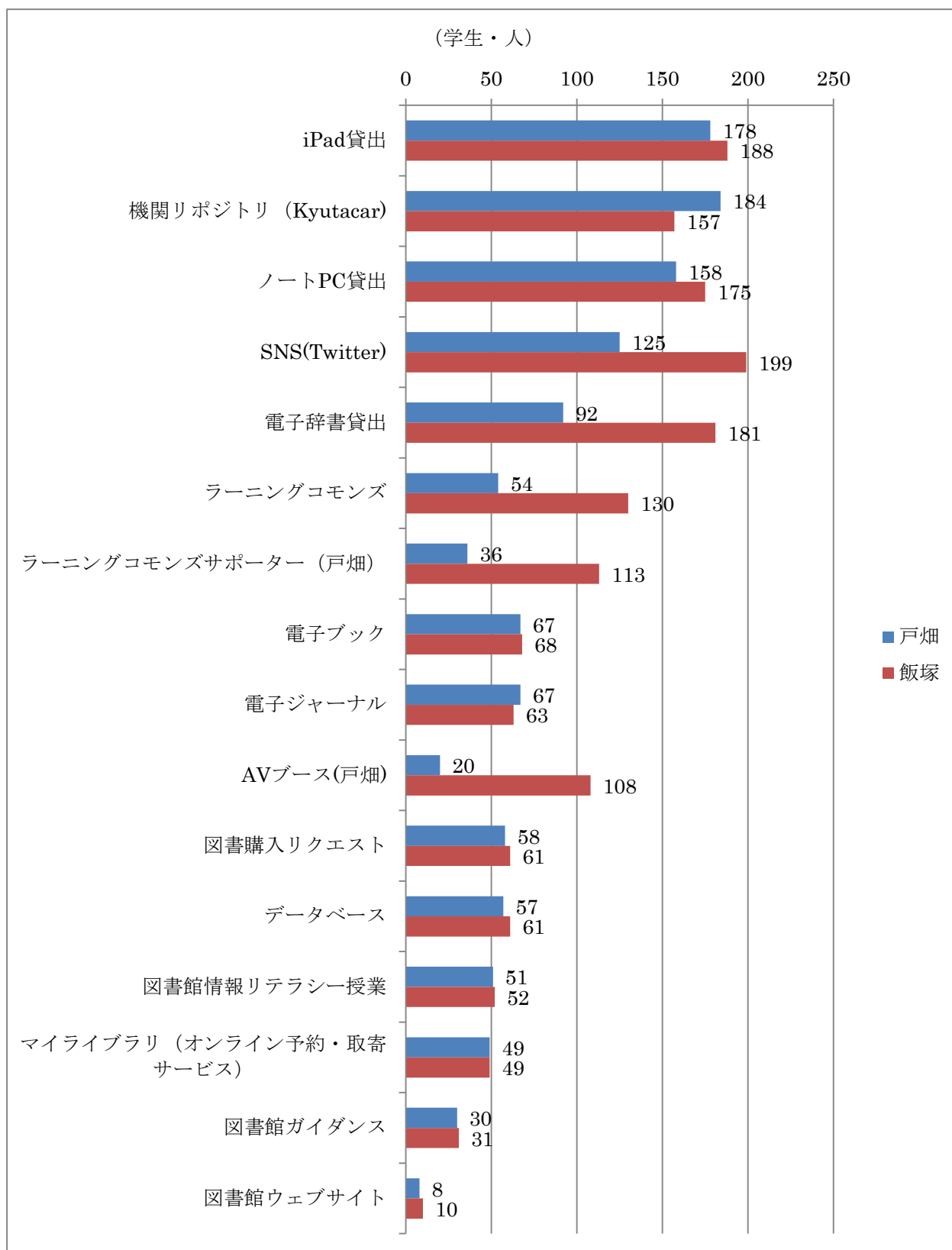
- 取り寄せや、読みたい本などの反映。(飯塚)
- DVD等の充実。(飯塚)

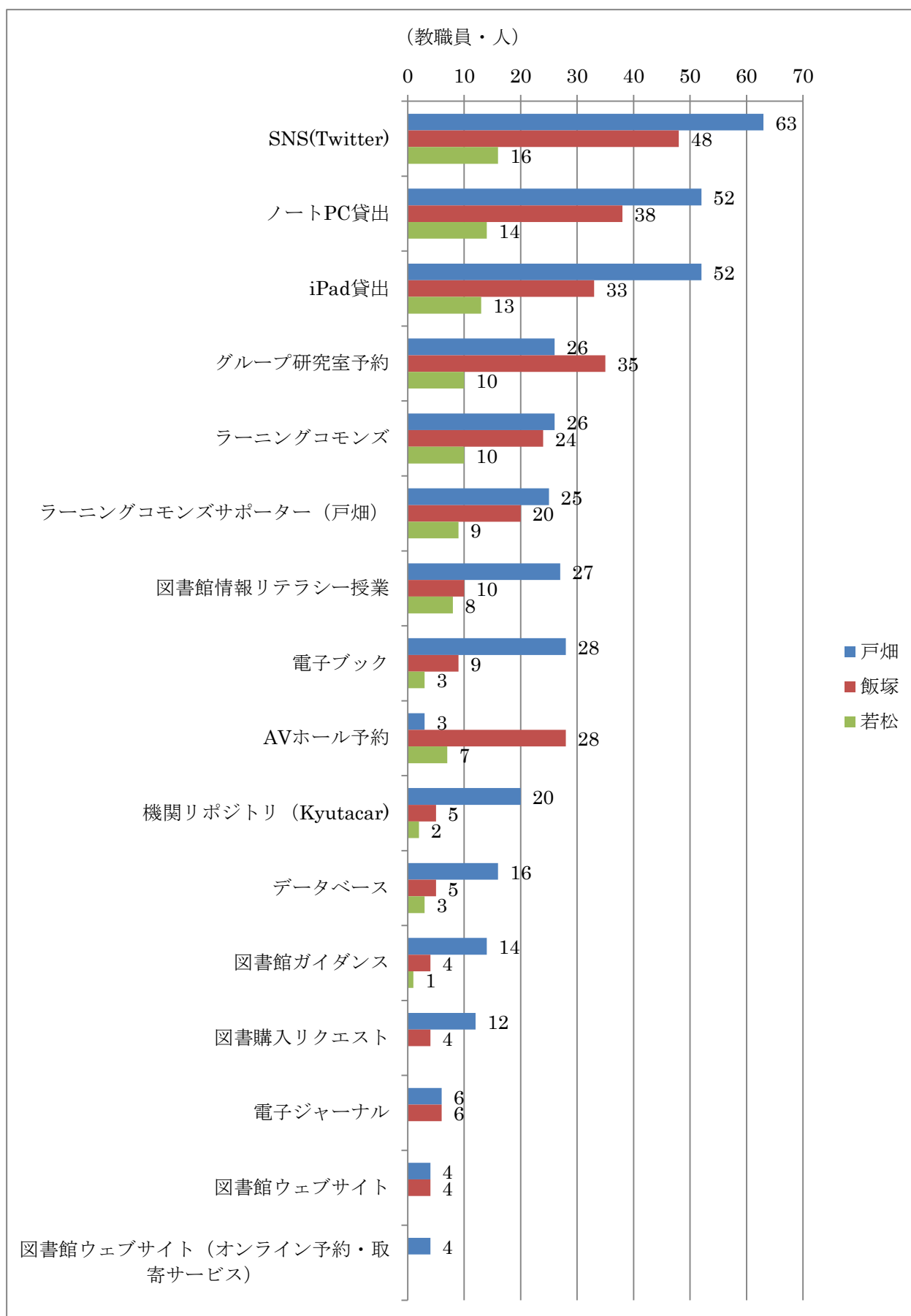


その他の意見：

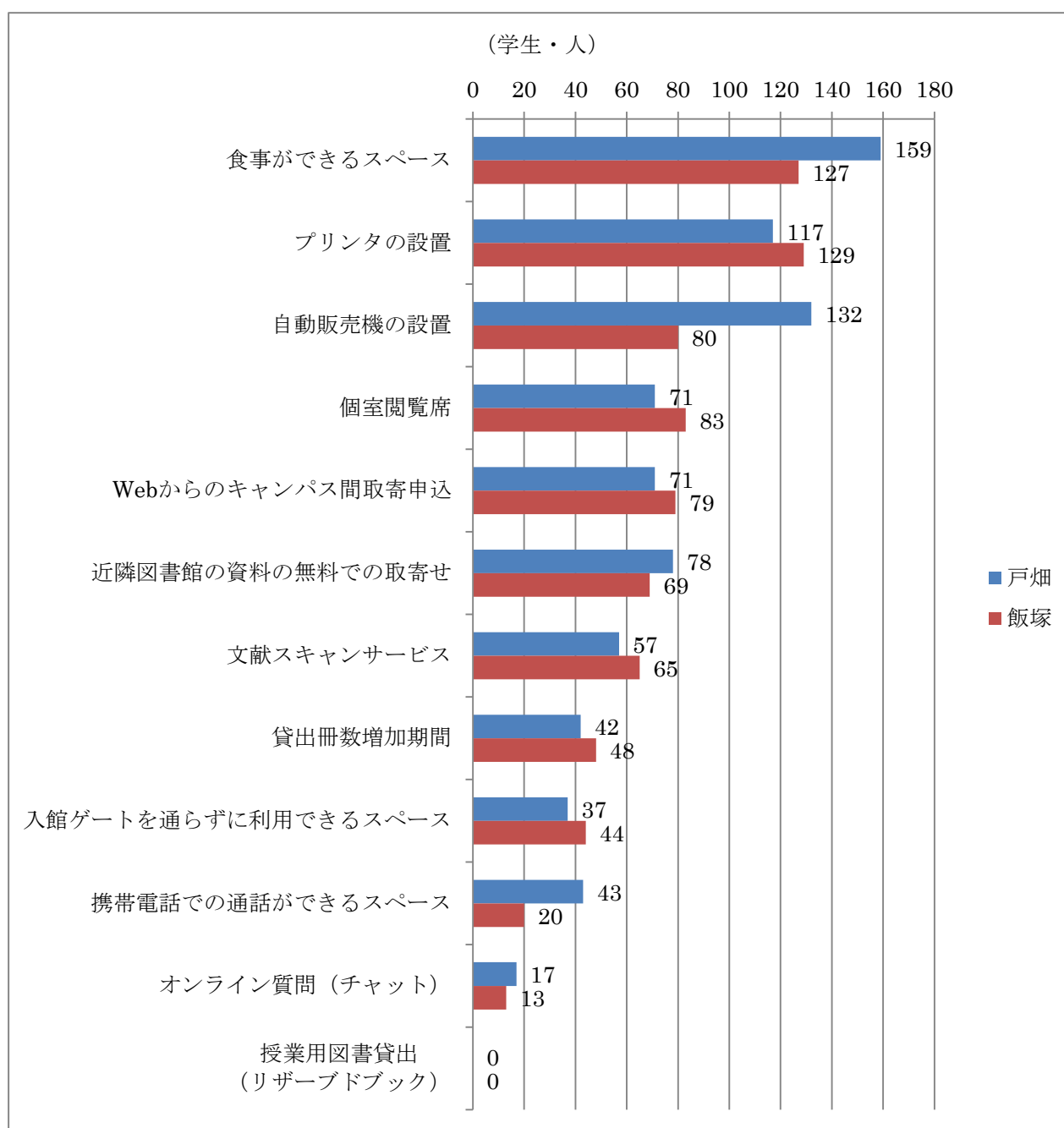
- 講演会で使いやすい AV ホール。（戸畑）
- 上記「図書・雑誌の充実」「電子ジャーナルの充実」「利用しやすい図書館ウェブサイト」は、他の選択肢と比べて当然の項目だと思います。アンケートの問いを分けるべきだと思います。（戸畑）
- 本学で電子閲覧できない学術誌の学外からの複写取り寄せ。（若松）

設問 2 図書館の提供する資料やサービスのうち、知らないものを選択してください。(複数選択可)



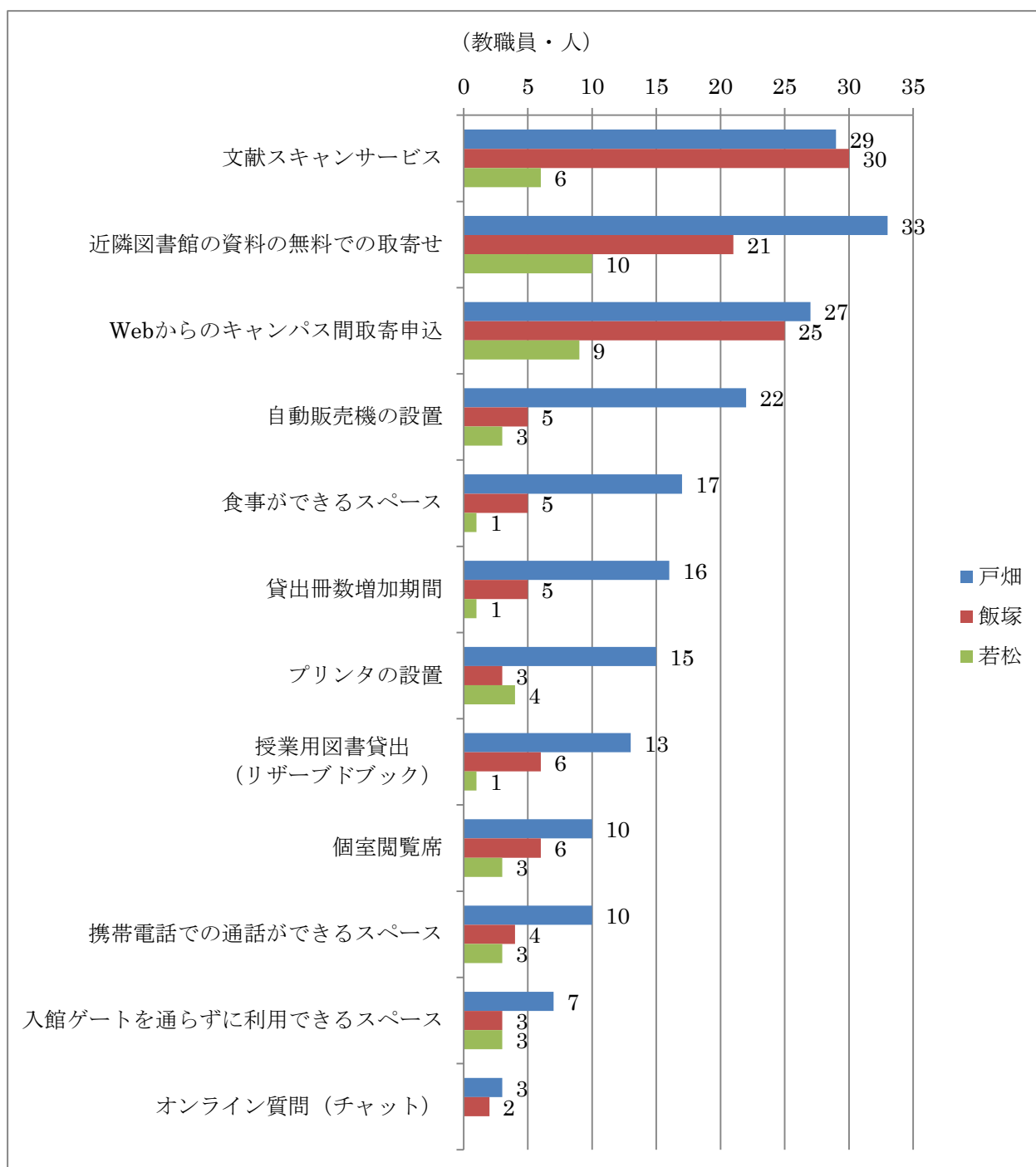


設問3 現在はない以下のサービスのうち、あったらよいと思うものを3つまで選んでください。



その他の意見：

- 図書の貸出冊数を増加してほしい。(戸畑)
- 冷暖房が強めのスペース。(戸畑)
- 24時間勉強できるところ。(戸畑)
- スキャナとマルチコピー機の設置。(飯塚)
- 延滞者へのより強力な措置。(飯塚)
- 漫画や小説等の娯楽本の充実。(飯塚)
- DVDの貸出期間の延長。(飯塚)
- 勉強場所の増設。あまりにも少なくなり過ぎて勉強場所に困っています。(飯塚)



その他の意見：

- 3階の部屋，会議使用での飲食。(戸畑)
- 学外の一般の方が気軽に利用できるサービス。(戸畑)
- IEEE Xplore。(飯塚)
- 予算で購入した図書を図書館に収めるか選択できる(2冊購入して1冊収めるオプションなど)。(飯塚)

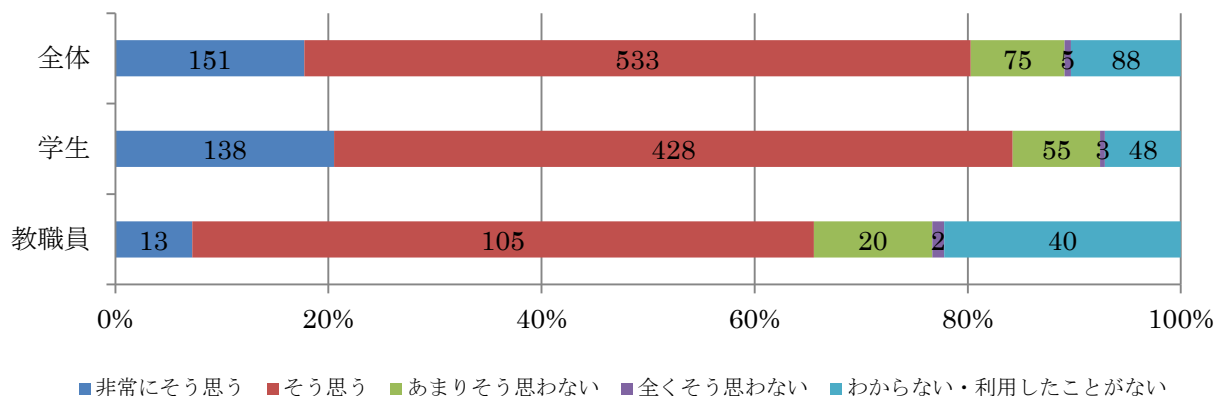
◆ 設問 1 は、学生・教職員ともに上位 4 位まで前回アンケートと同じ結果となった。学生・教職員ともに「図書・雑誌の充実」をもっとも重視しており、教職員は 2 番目に「電子ジャーナルの充実」を挙げている。

設問 2 では、機関リポジトリを知らない学生の割合が前回の 64%から 50%に減ったのに対し、iPad やノート PC の貸出を知らない学生の割合は前回より 10%近く増えている。図書館利用に不可欠な図書館ウェブサイトの存在を知らない学生は、前回の 8.5%から 2.6%に減少し、マイライブラリに至っては 31%から 15%に半減しており、広報やレファレンス受付時の対応に一定の効果があったと考えられる。

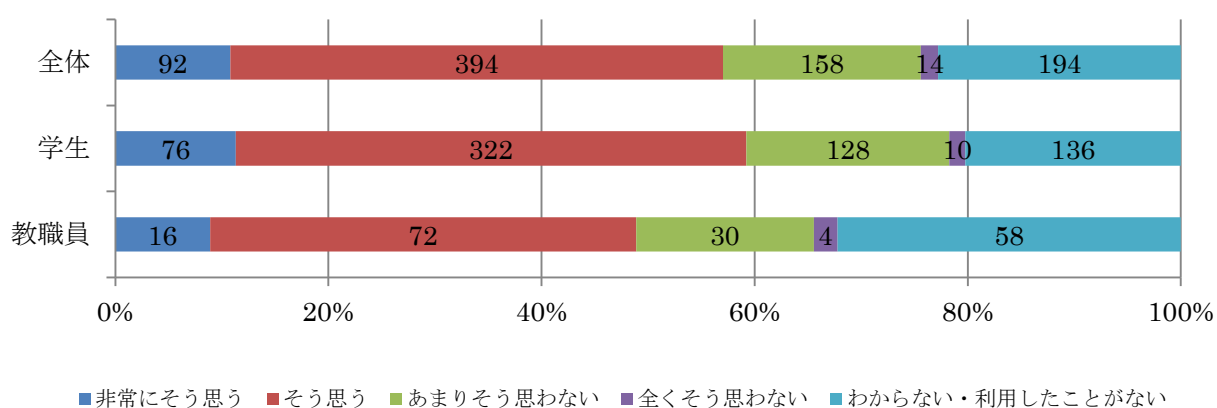
今回新たに加えられた設問 3「あったらよいと思うサービス」については、学生では設備や施設に関する要望、教職員では文献スキャンサービスや、ILL に関する要望が多い。実現可能な要望については積極的に検討していく必要がある。

2-3. 情報へのアクセス

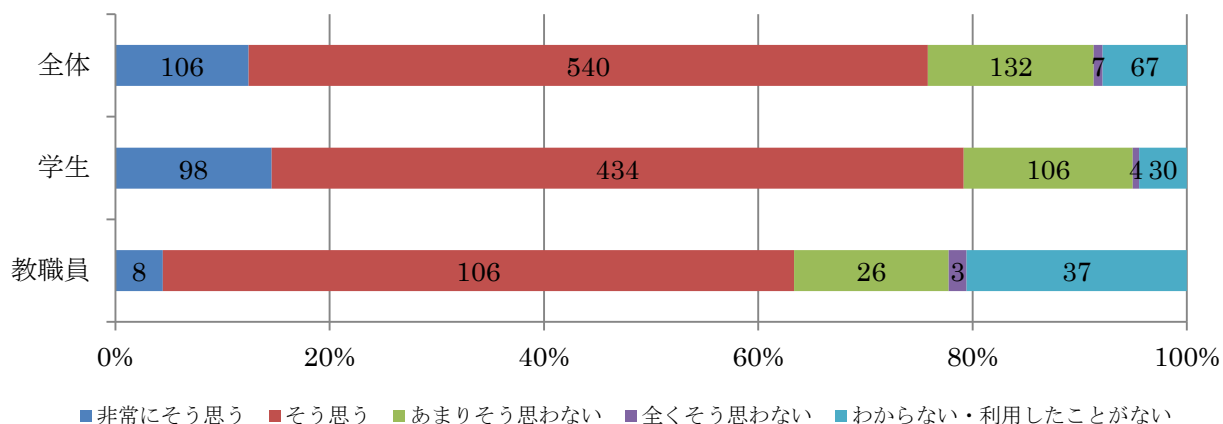
A-1. 図書館のウェブサイトは、自力で情報を見つけられるように作られている
(人)



A-2. 自宅または研究室から、データベースや電子ジャーナル等の電子資源に容易にアクセスできる (人)

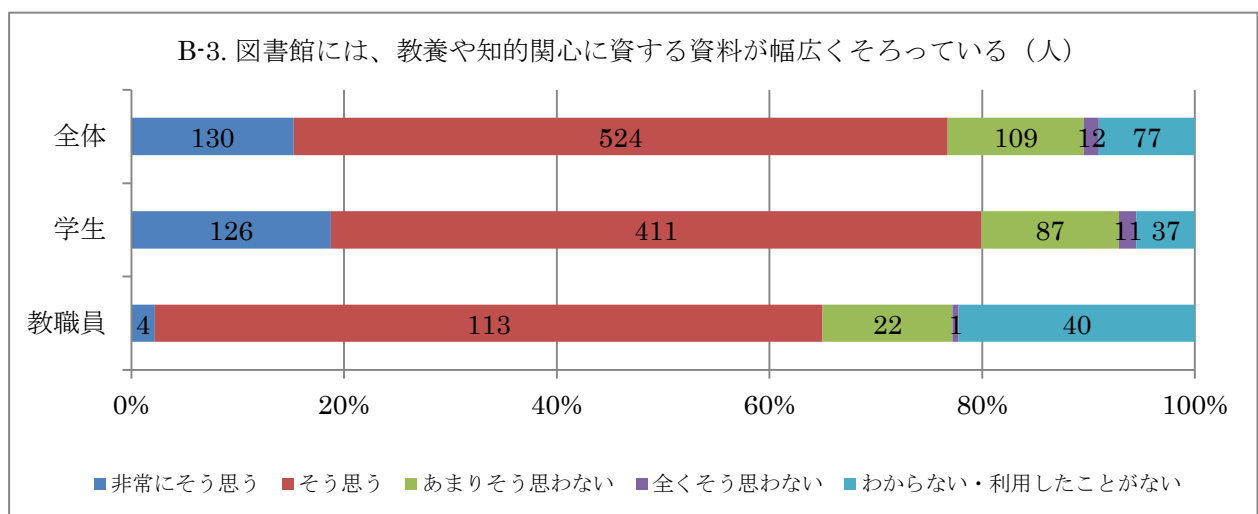
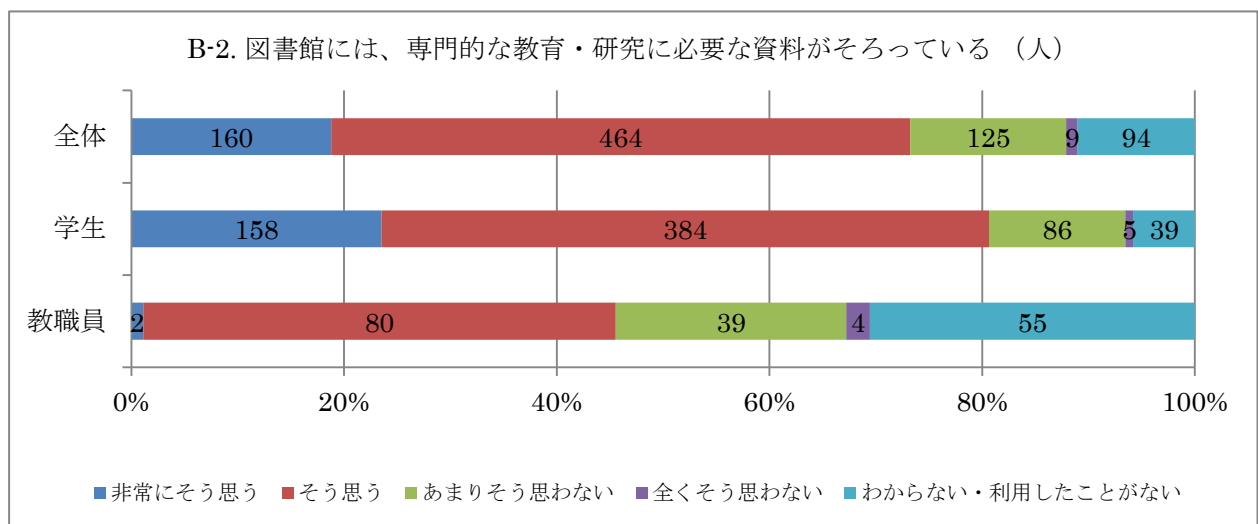
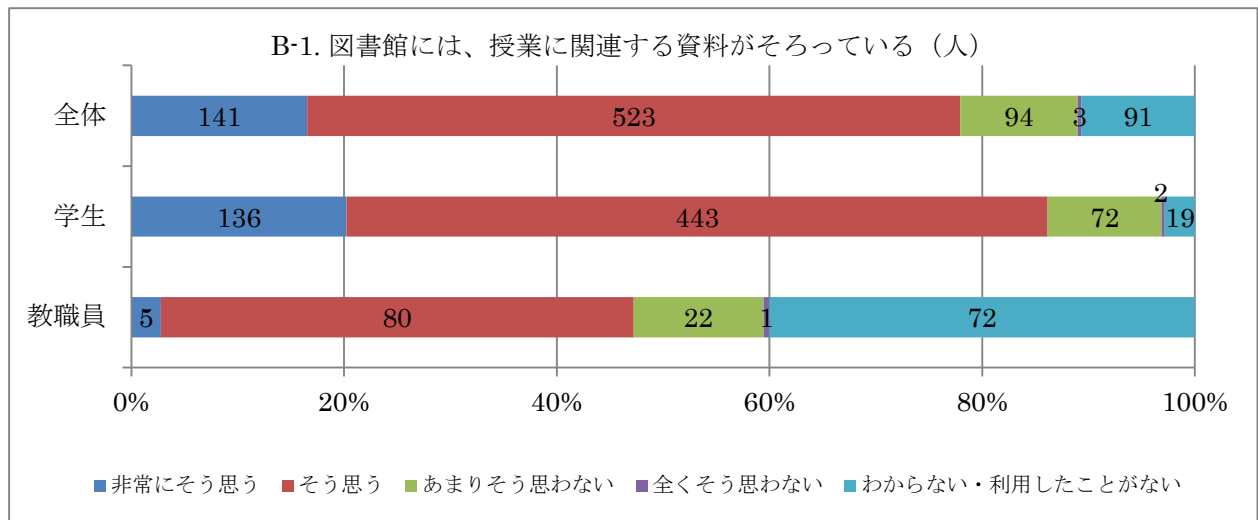


A-3. 図書館内の案内・掲示は、必要な資料等が探しやすくなっている
(人)

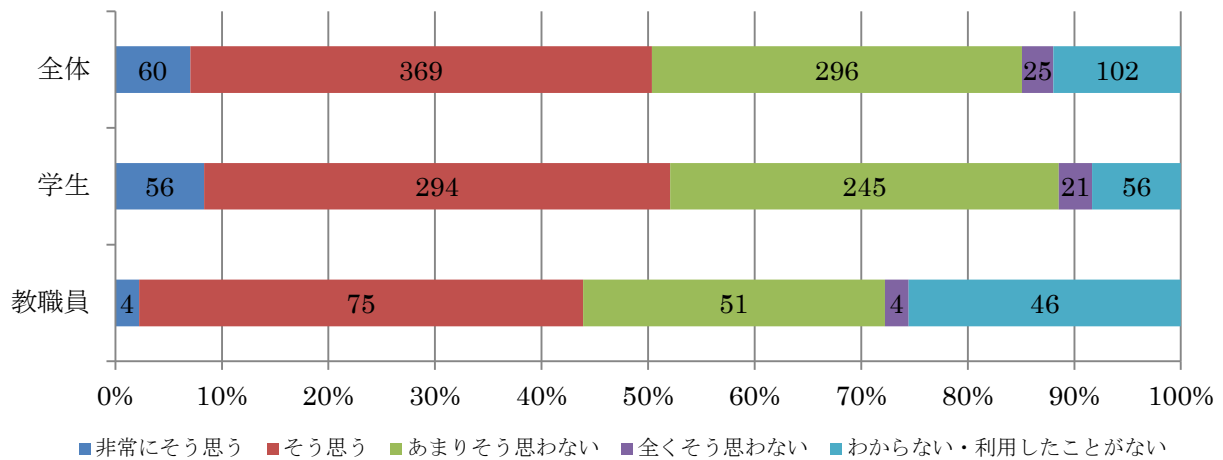


◆ 情報へのアクセスの利便性について尋ねた 3 つの設問は、いずれも肯定的な回答が前回アンケートより 15 ポイント前後向上している。ただし、依然としてデータベースや電子ジャーナルへのアクセスに関する満足度は 60%を割り込んでいる。目的の電子資料に容易にたどり着けるような改善や、案内方法の工夫が必要である。

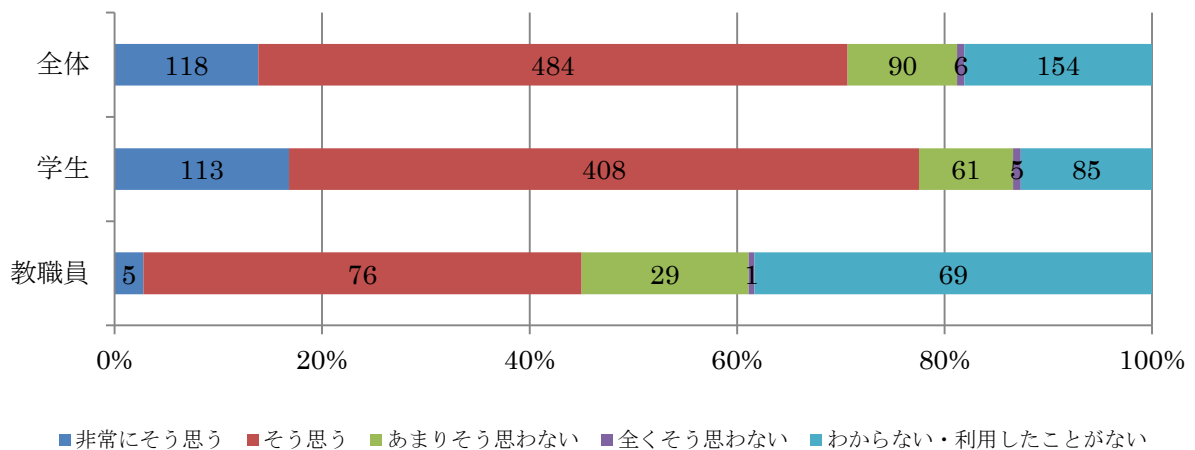
2-4. 学術情報資源の充実



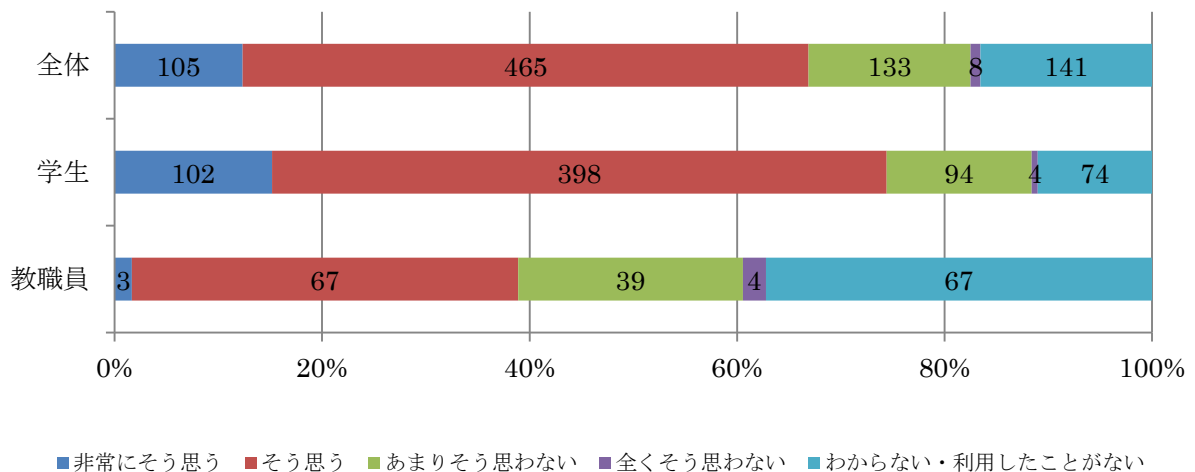
B-4. 図書館には、最新の資料がそろっている (人)



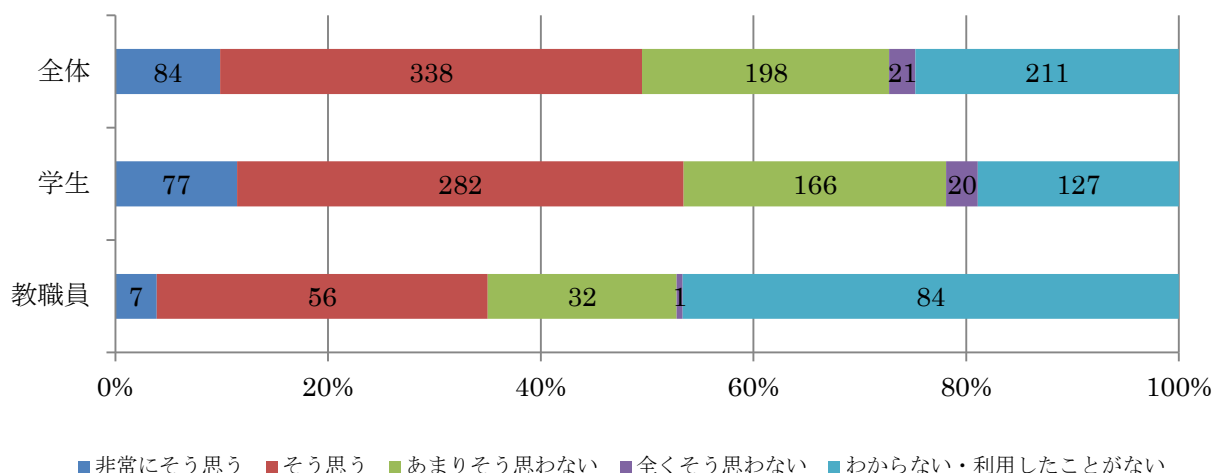
B-5. 図書館には、調べものを行う資料 (辞書・事典類) がそろっている



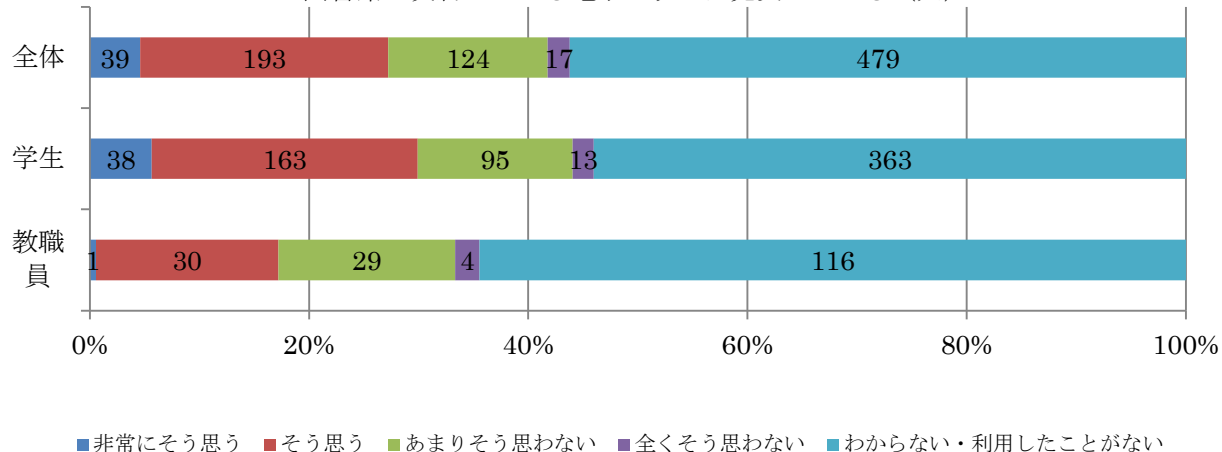
B-6. 図書館には、調べものを行うデータベースがそろっている(人)



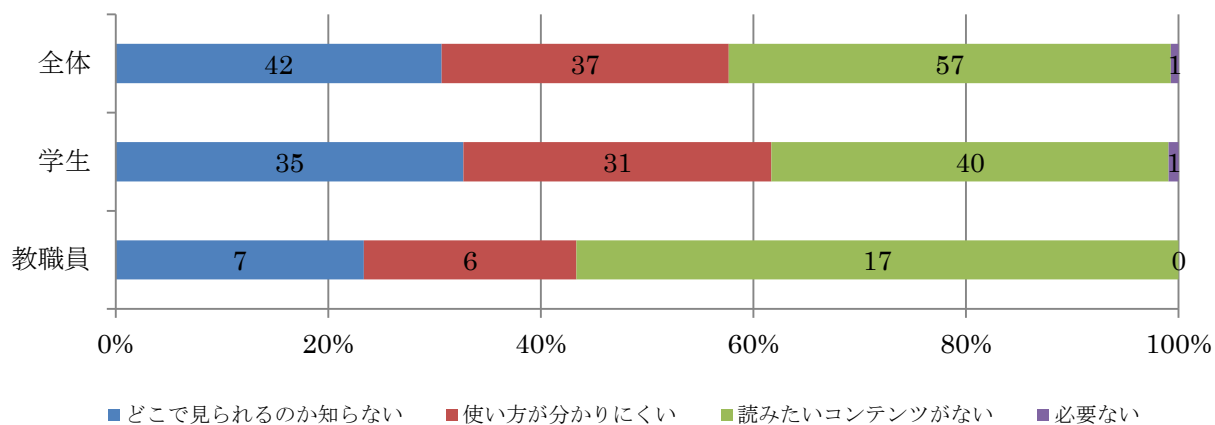
B-7. 図書館には、視聴覚資料（ビデオ・DVD・CD）が充実している（人）



B-8. 図書館で契約している電子ブックは充実している（人）

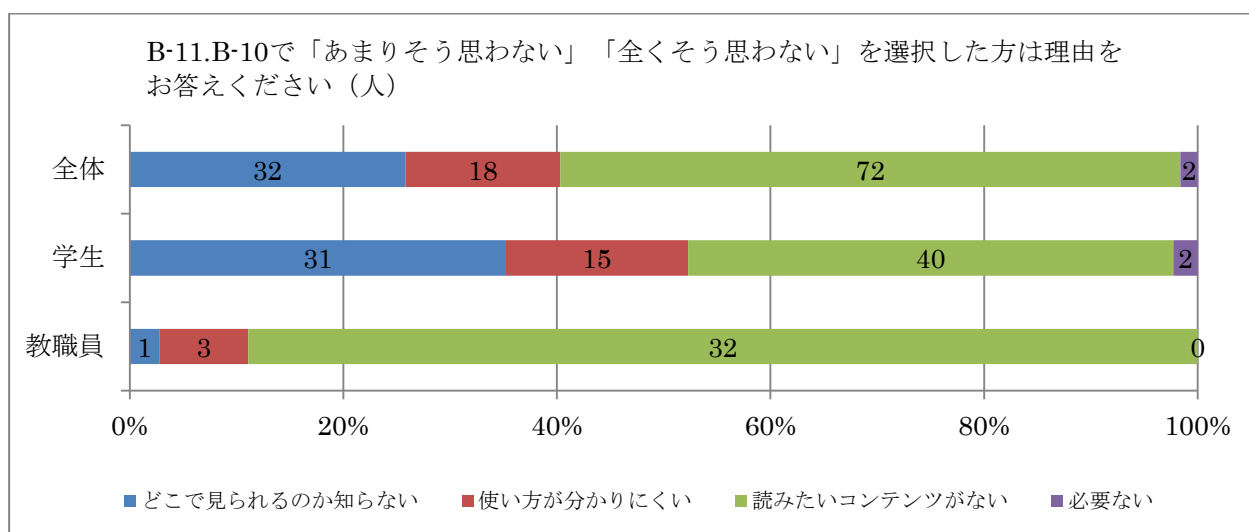
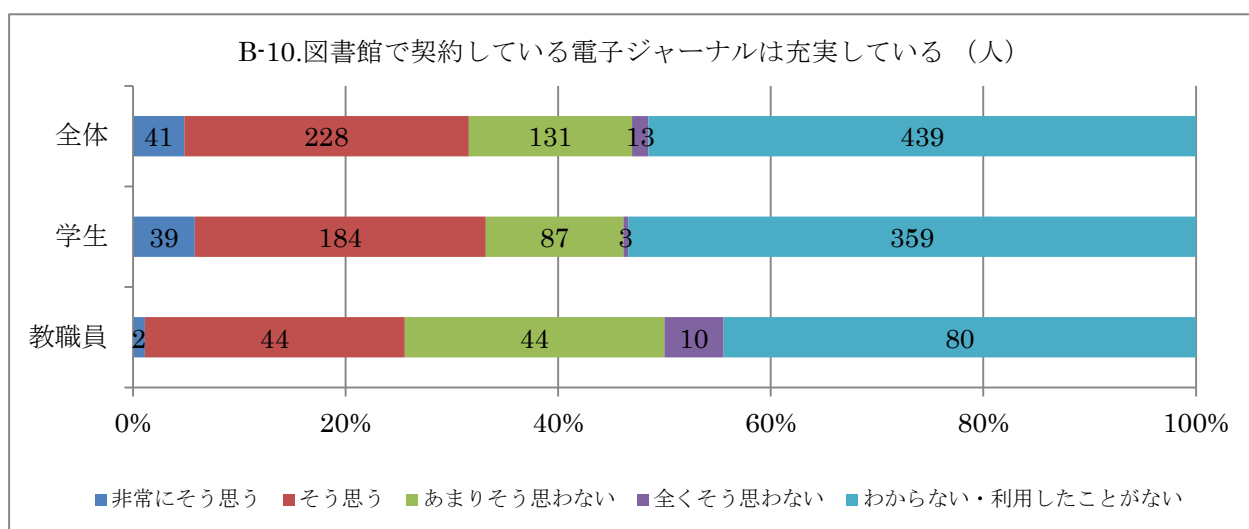


B-9. B-8で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を選択した方は理由をお答えください（人）



その他の意見：

- 見られない書籍が多い/閲覧不可であるメッセージが表示されないので不具合かと思った。（飯塚学生）
- ビューアの使い勝手が悪い！！（戸畑教職員）
- 閲覧できる電子ブック・電子ジャーナルの数が少ない。（飯塚教職員）
- 探した本が無かった。（若松教職員）



その他の意見（抜粋）：

- もう少し多くの学術雑誌と提携してほしい。（戸畑学生）
- 必要なジャーナルが読めないことが多い。（戸畑教職員）
- 長期的な視点で、研究業績を上げている分野の雑誌を重要視しないと、大学の論文数が激減し、本学の研究力が衰退の一途をたどりかねない。（戸畑教職員）
- 費用面で致し方ないが、どうしても大学内でマイナーな分野は購読できないため。（飯塚教職員）
- ACS や Nature でも読めない Journal があり、RSC に至ってはすべての Journal が読めない。（若松教職員）

B-12 研究で必須の雑誌（コアジャーナル）は何ですか。ISSN 又は雑誌名を 1 誌ご記入ください（自由回答）

※雑誌名は割愛し、出版社名別に集計。

出版者	戸畑	若松	飯塚	総計
IEEE	6	2	6	14
Springer nature		3	3	6
American Physical Society(APS)	4	1		5
American Institute of Aeronautics and Astronautics (AIAA)	2		1	3
American Society for Biochemistry and Molecular Biology Inc.			3	3
Elsevier		2	1	3
Royal Society of Chemistry(RSC)	1	2		3
ACS	2			2
American Institute of Physics(AIP)			2	2
Society for Industrial and Applied Mathematics			2	2
Wiley/American Institute of Chemical Engineers	1			1
その他	4	1	5	10
	20	11	23	54

B-13 電子ジャーナルの契約や購読についてご意見があればご記入ください（教職員・自由回答・抜粋）

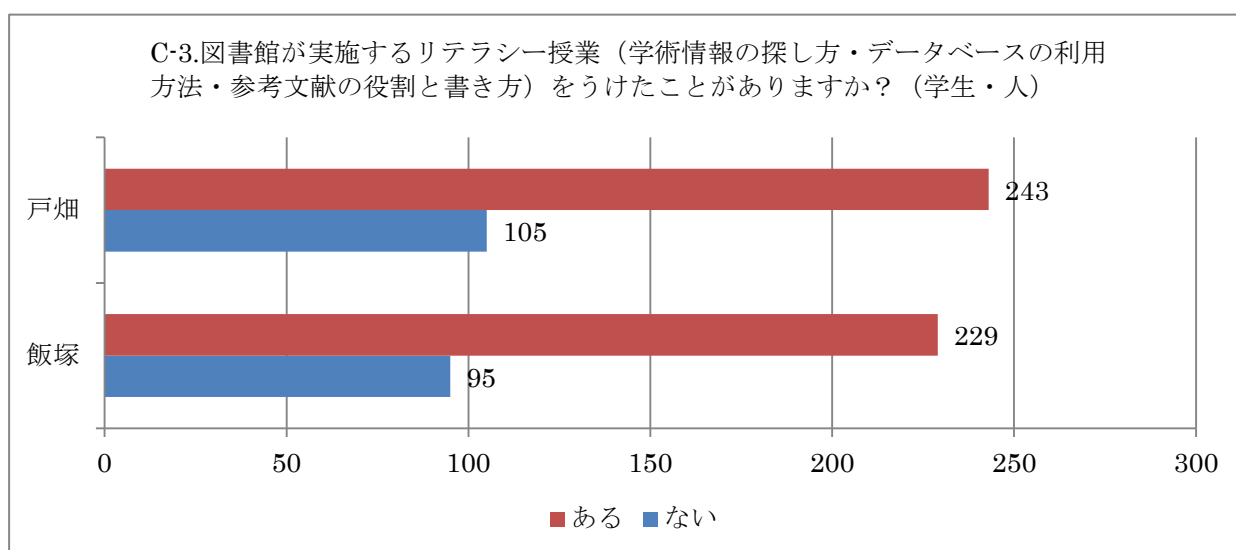
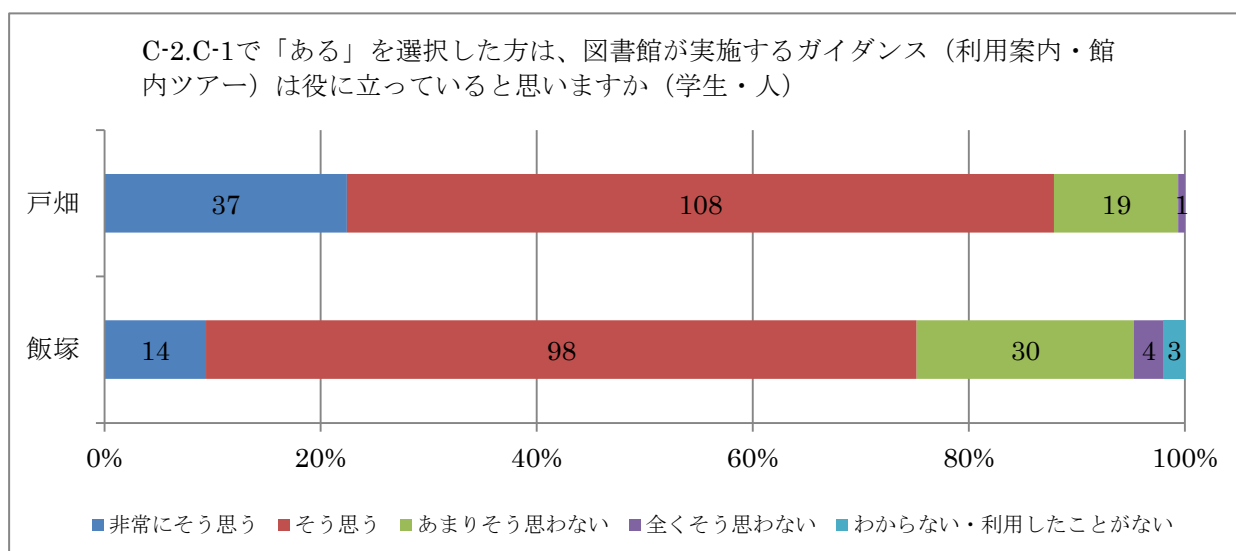
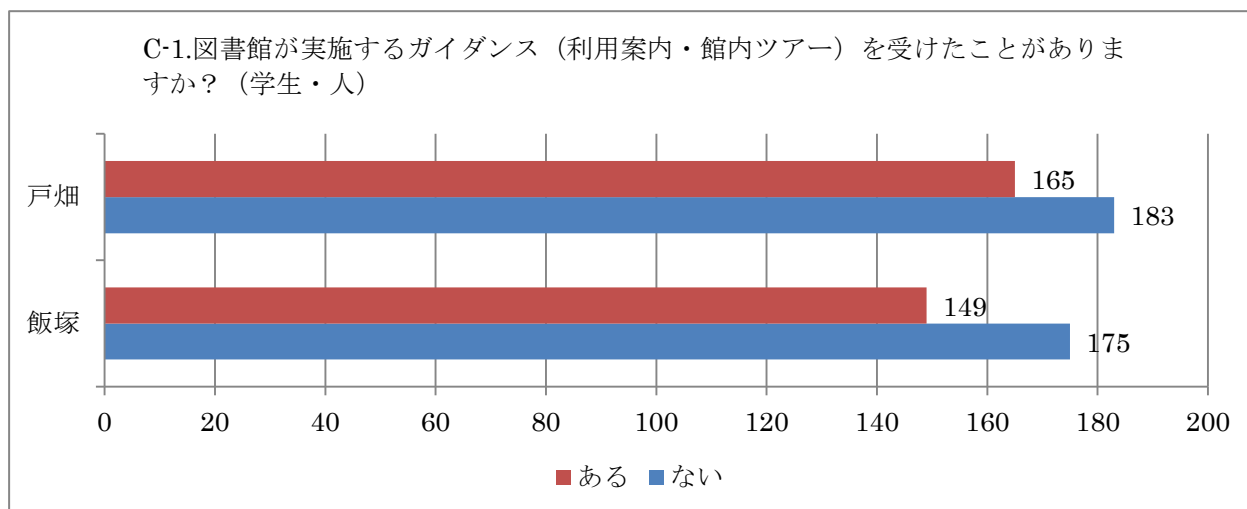
- 過去のしがらみを排除し、論文が出ている雑誌を優先的に契約しないと、本学の研究力が衰退の一途をたどる。（戸畑教職員）
- 教員によって必要な雑誌が異なるため、各教員で契約すれば良いと思う。（戸畑教職員）
- 研究業績をあげている研究者の論文掲載誌が読めるように優先して契約雑誌を決めるべきである（大学のアクティビティに寄与している教員の活性を維持するため）。ダウンロード数が多い雑誌を優先する今のやり方では、アウトプット（論文執筆）に寄与しているアクティブな教員が読みたい雑誌が読めない事態になっている。昨年度から行われている、研究業績の多い優秀な教員への予算配分とリンクさせて、購入希望雑誌もそれらの教員の意向が反映されるようにすべきである。エルゼビアのパッケージ契約を行っている今のやり方では、特定の学科（応用科学科）のみが優遇されており、是正が必要である。（戸畑教職員）
- 個々の分野で必要な雑誌にも目を向けて欲しい。アクセス数が少なく個人契約が比較的しやすい雑誌はやめてもいいのでは。（戸畑教職員）
- 検索の方法が少しわかりにくいように思います。（飯塚教職員）
- 研究に必要なジャーナルは、バイオ分野も含め、全学レベルで完備すべき。（飯塚教職員）
- 他大学と連携して幅広く契約できないのでしょうか。（飯塚教職員）
- 情報工学部を名乗っておきながら ACM とか IEEE CS の雑誌が無いのはいかなものかと思います。（飯塚教職員）
- 費用対効果の問題もあるので、意見は難しい。（飯塚教職員）
- より多くの電子 Journal と契約できればよいが、財源的には難しいでしょう。そうであれば、他機関図書館からの複写取り寄せの電子化などの迅速化が望まれます。（若松教職員）

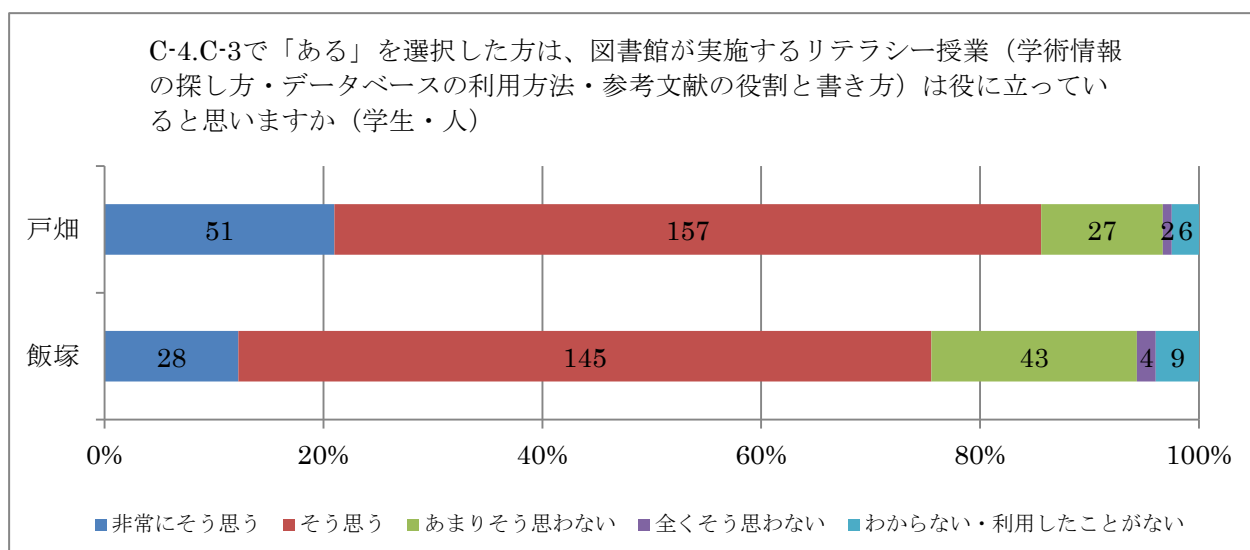
◆ 最新資料の充実について尋ねた設問(B・4)では、肯定的な意見が半数を超えた(前回は3割程度)。紙媒体の資料や視聴覚資料についても、いずれも前回より肯定的な回答が増加した。ただし、いずれの項目も、学生より教職員の方が満足度は低い。

一方で、電子ブック(B・8)・電子ジャーナル(B・10)の充実については、前回と同じく肯定的な回答は2～3割程度にとどまった。いずれも「わからない・利用したことがない」の割合が半数を超えており、認知度自体が低い。また、特に教職員から電子ジャーナルの契約や購読について変更や改善を望む声が多い。

今後は電子リソースについてより効果的な広報を行い、認知度を高めると同時に、利用者のニーズに応じたコンテンツをそろえていくことが求められている。

2-5. ガイダンス・リテラシー授業（学生）

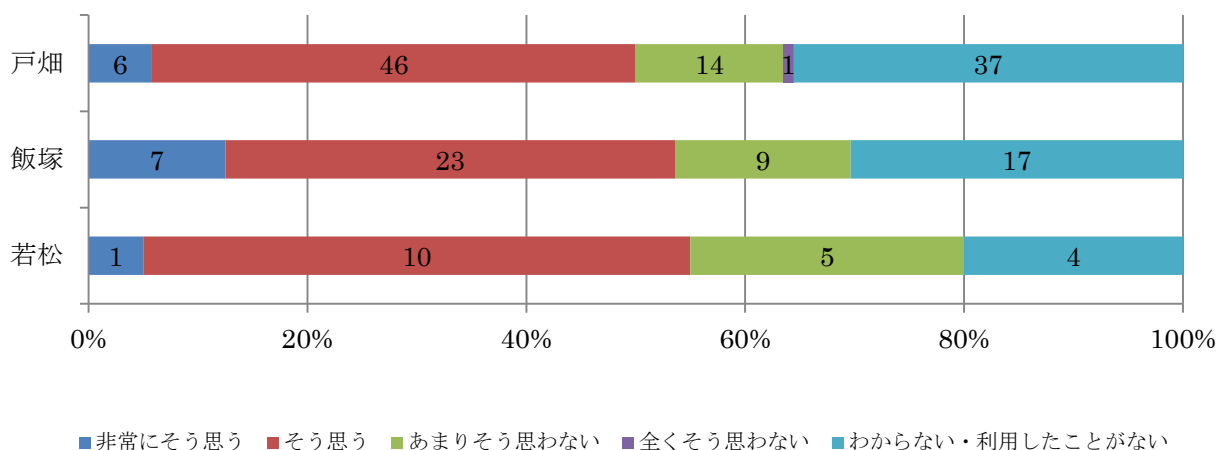




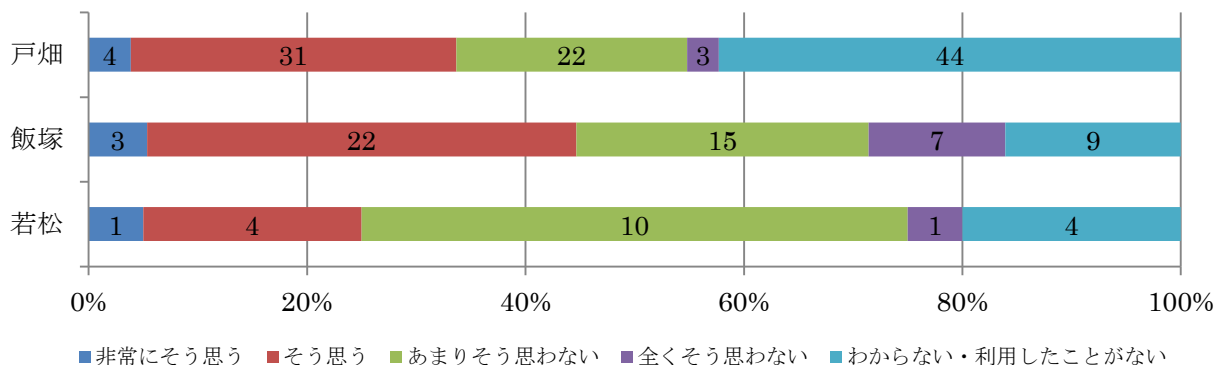
◆ 図書館ガイダンスは入学時に任意で実施、情報リテラシー授業は初年次の必修と、4年次以降に任意の中級ガイダンスを実施している。ガイダンスを受けた学生は2015年度の34名から2018年度の104名に大幅に増加した。リテラシー授業やガイダンスを受けたことがある回答者については満足度は8割前後と高いが、初級リテラシー授業が初年時の必修であるにもかかわらず「受けたことがない」と回答している学生も少なくない。今後は学生にとってより意義のある授業を模索する。

2-6. 学術情報資源の発信（教職員）

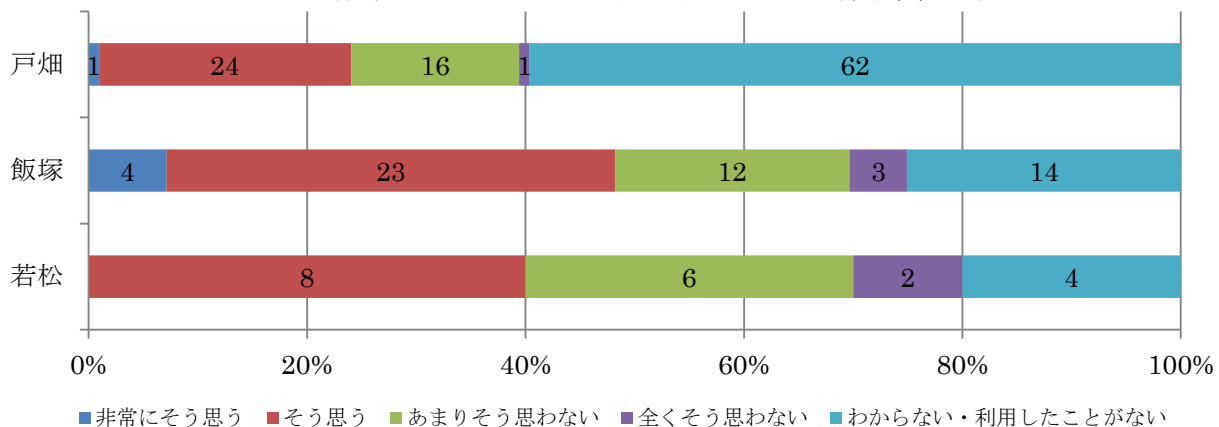
C-1.図書館は、本学の学術資源を学外へ発信するために貢献している（教職員・人）

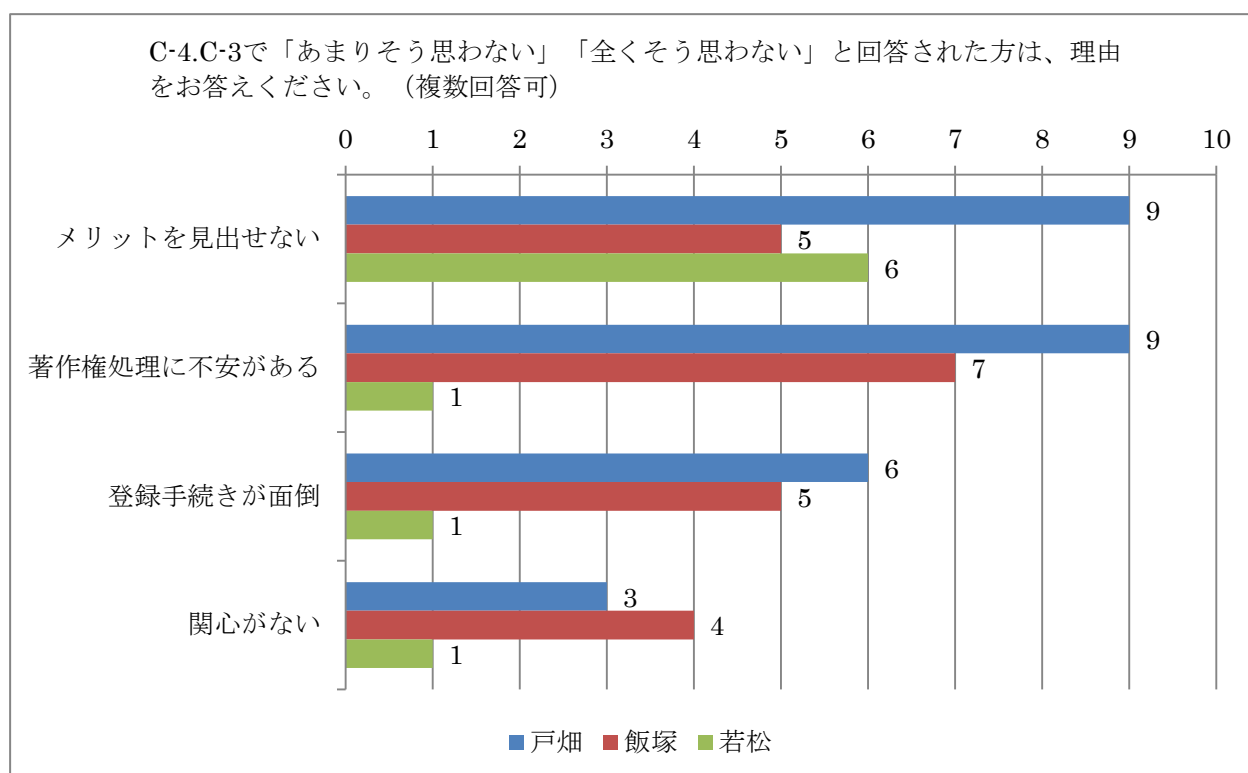


C-2.図書館で、論文だけでなく教材や研究データも電子化し提供・保存して欲しい（教職員・人）



C-3.研究成果をリポジトリに登録して発信したい（教職員・人）



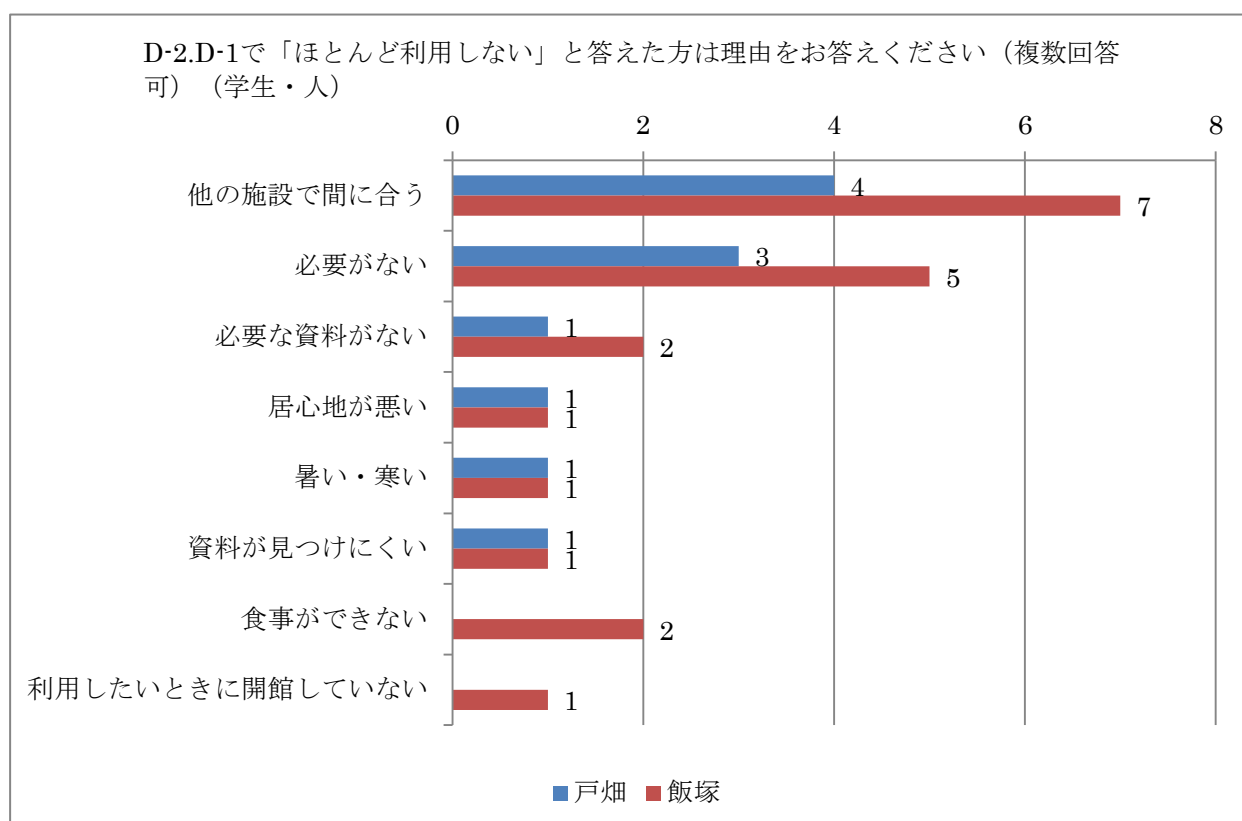
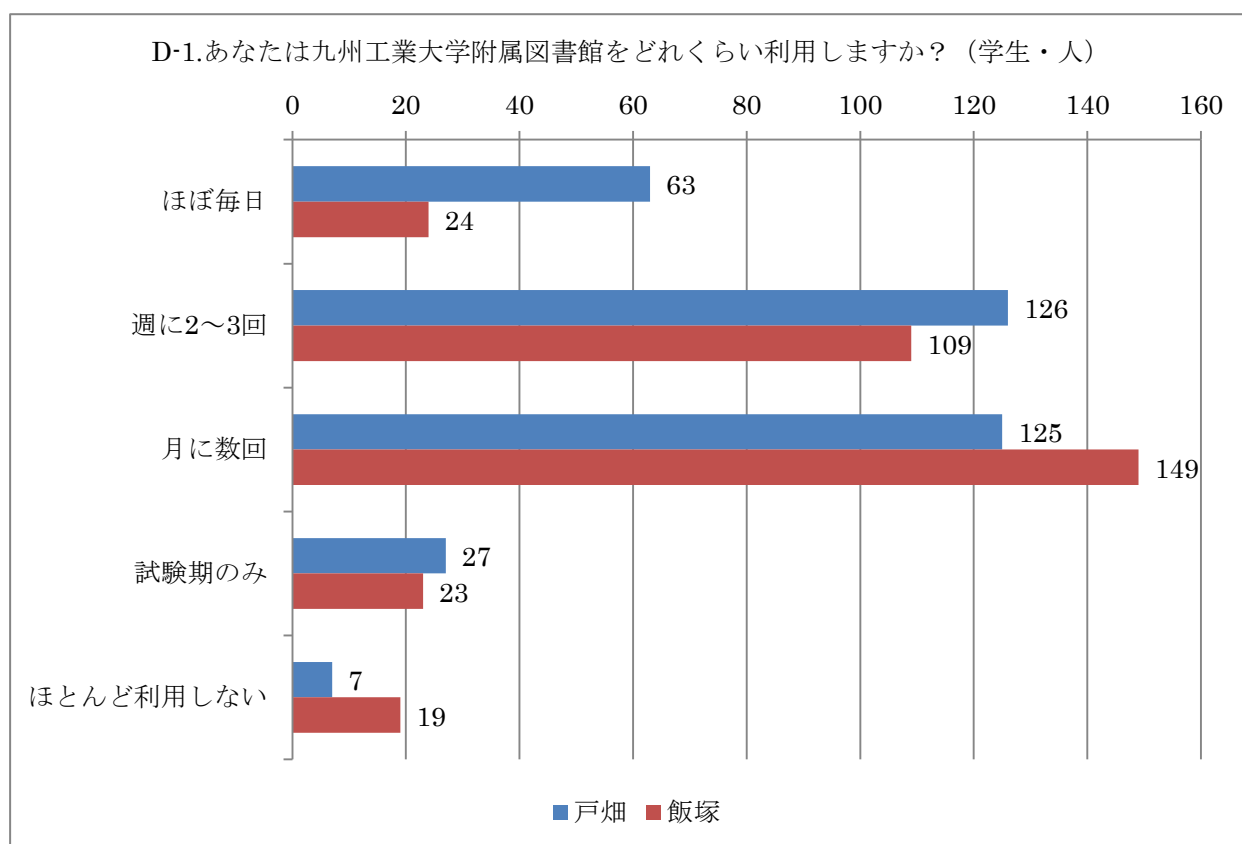


その他の意見：

- ・ インターフェースが良くない（若松教職員）
- ・ 必要な発信は、学術誌への掲載によって成している。不必要に発信元を増やすことが Citation 増大につながるとは思えない。（若松教職員）

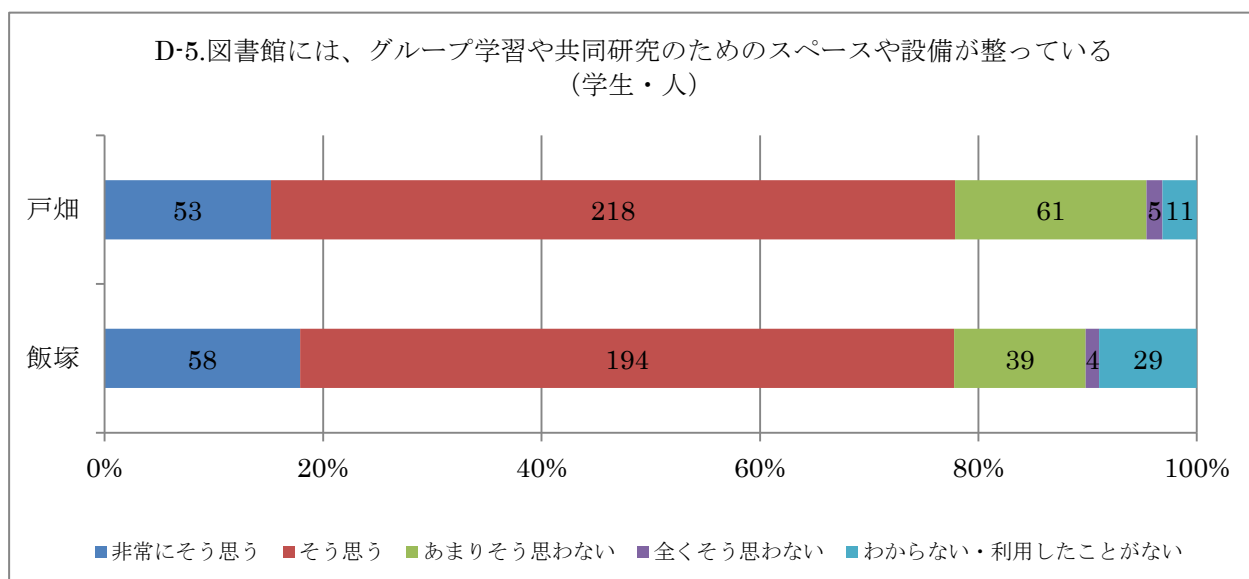
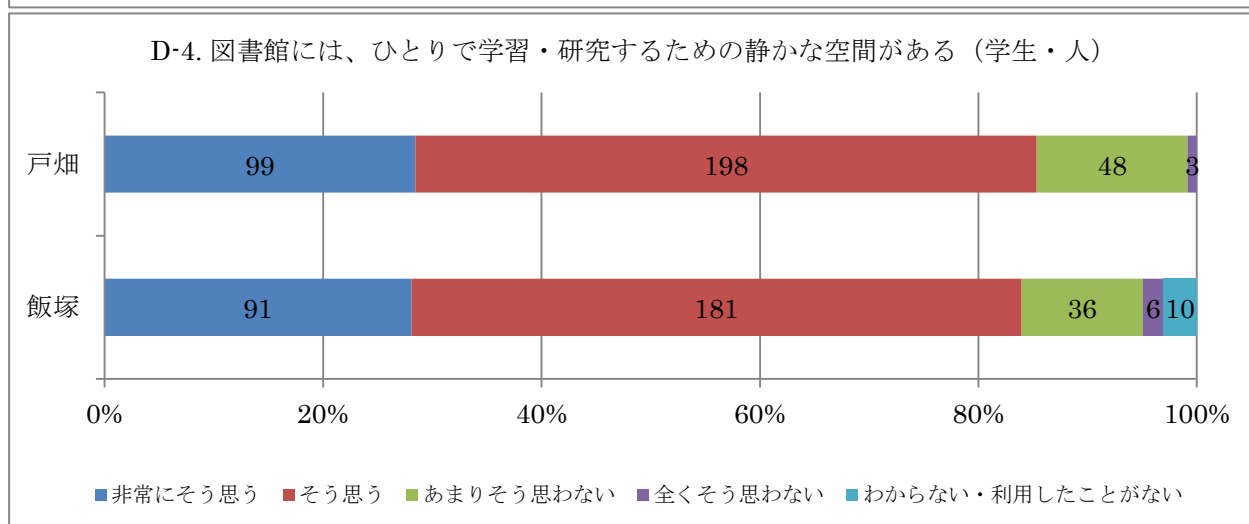
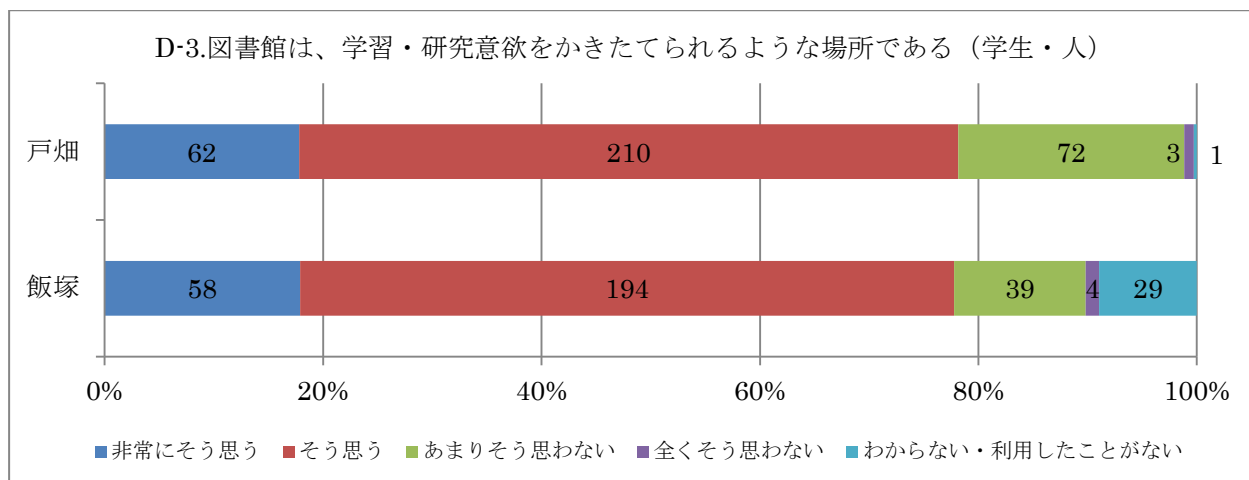
◆ 図書館による学術資源の外部発信についての設問(C-1)では、肯定的に捉えている回答者の割合が、前回アンケート(32%)より平均で 20 ポイントほど向上している。しかしながら、「論文だけでなく教材や研究データも電子化し提供・保存して欲しい」(C-2)については、肯定的な回答が 20 ポイントほど低下し、「研究成果をリポジトリに登録して発信したい」(C-3)については前回同様 30%程度にとどまっている。今後は学術情報資源の電子化のメリットや、著作権処理に関する広報や説明に力を入れる必要がある。

2-7. 場としての九州工業大学附属図書館（学生）

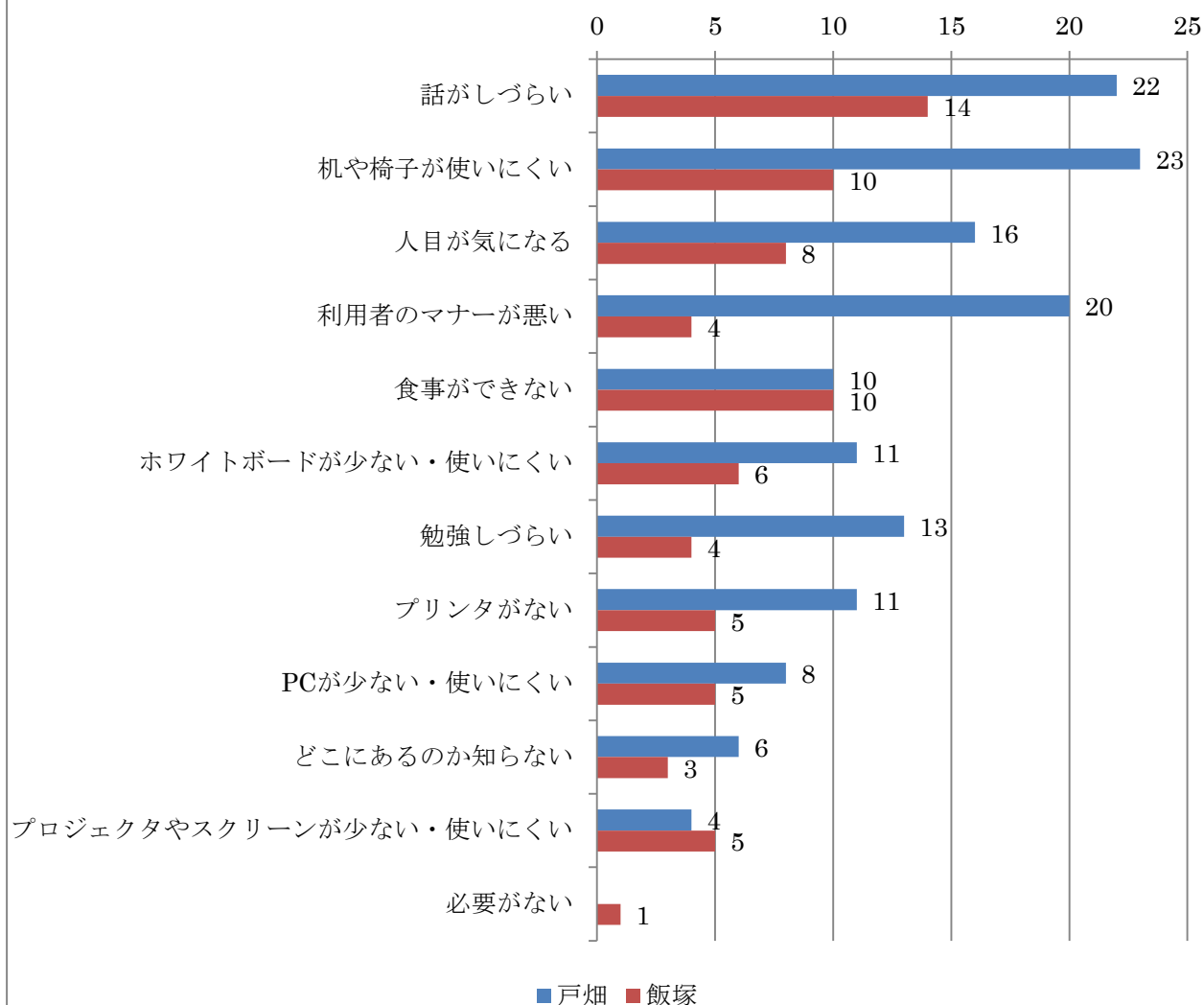


その他の意見：

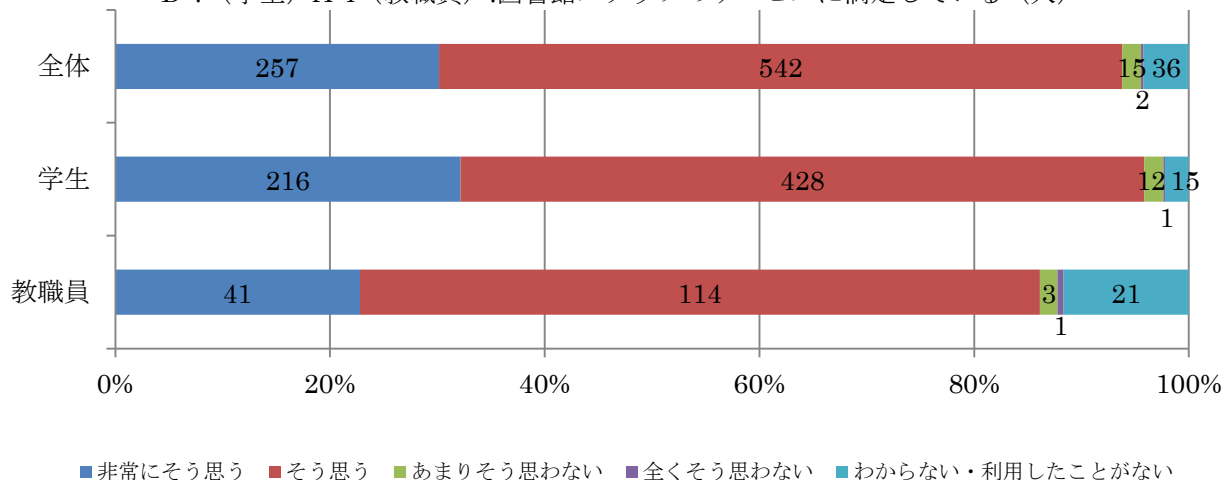
- ・ 若松キャンパスにいるので附属図書館に行くことがないです。飯塚キャンパスの時は行っていました。（飯塚学生）
- ・ 遠い。（飯塚学生）
- ・ 図書を探そうと思ったときのみ訪れるため。（飯塚学生）



D-6.D-5で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、理由をお答えください（複数回答可）（学生・人）



D-7（学生）A-4（教職員）.図書館スタッフのサービスに満足している（人）



D-8. D-7（学生）で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、理由をお答えください（自由回答・抜粋）。

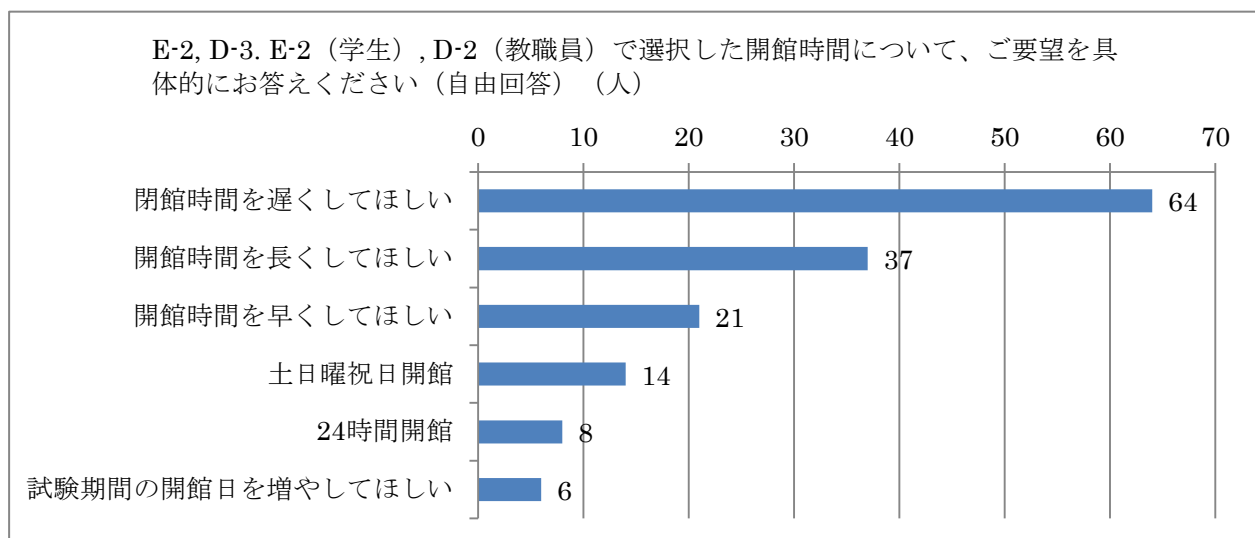
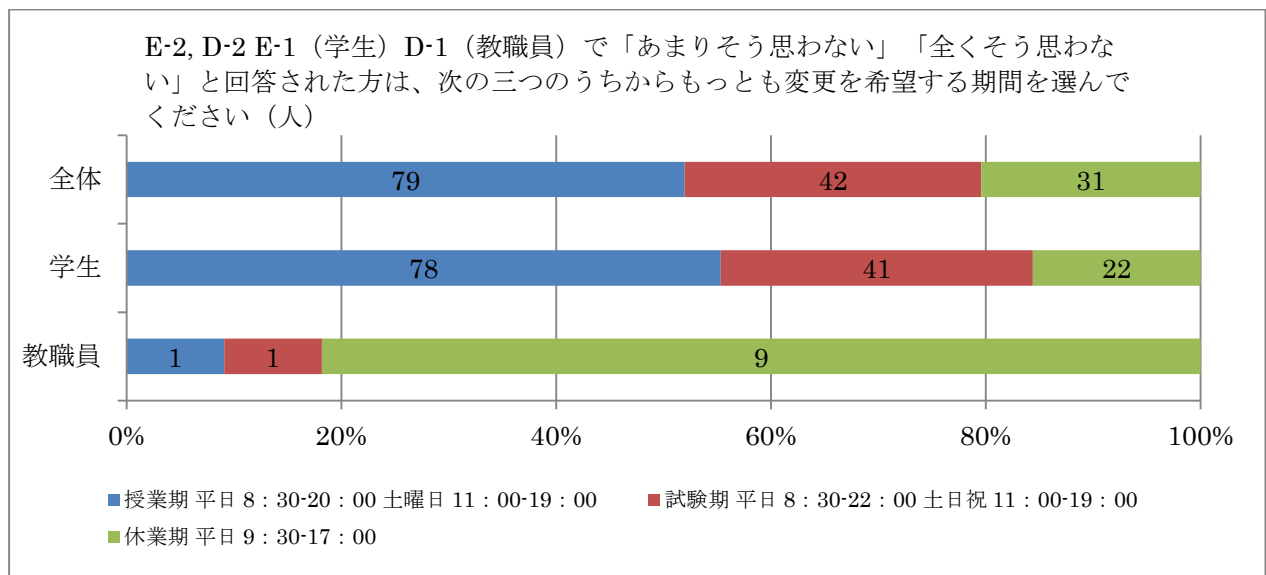
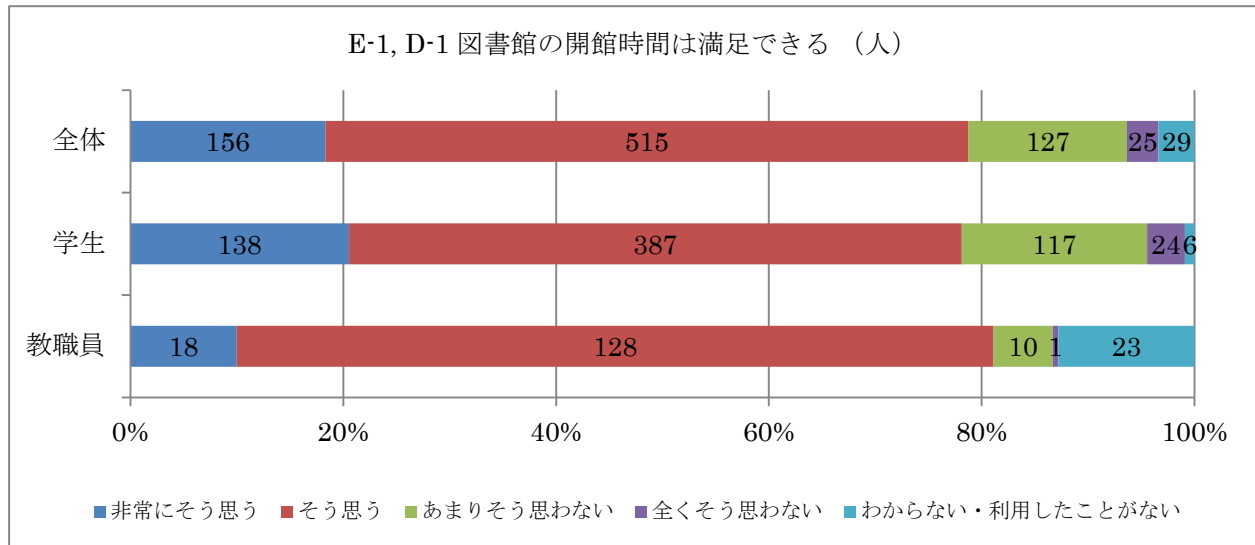
- ときどき返却・貸し出しにカウンターで待つことがある。（戸畑学生）
- 言い方がきつい方がいると感じる。（戸畑学生）
- 元気がない感じがする。（戸畑学生）
- 特段サービスを実感したことがない。（戸畑学生）
- 貸し出しの際の手続き以外に、特にお世話になることもないため。また、関わる機会すらないため。（戸畑学生）
- 見回りの音がうるさい。（飯塚学生）
- あまり融通が効かない。（飯塚学生）
- 本を借りたいときに人がいないときがある。（飯塚学生）

A-5. A-4（教職員）で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、理由をお答えください（自由回答・抜粋）。

- いっそうのサービス向上を願って。（戸畑教職員）
- 利用可能なデータベースが少なく、研究資料が揃わないため。（飯塚教職員）
- 積極的なサポートをしようとしていない（若松教職員）

◆ 図書館をほぼ毎日か週に2～3回利用する学生が全体の48%を占め、前回の26%から倍増した。図書館を「学習・研究意欲をかきたてられるような場所」（D-3）としてとらえている学生の割合も、前回の65%から80%弱へと増加しており、学習の場としての図書館に対する評価が上がっていることが分かる。グループ学習の場としての設備評価(D-5)も同様に向上しているものの、否定的な意見としては「話がしづらい」ことをあげる回答者が多かった。ラーニングコモンズの存在をよりいっそう周知するとともに、環境の整備やマナーの向上を図りたい。スタッフのサービス(D-7)に対しては9割の回答者が肯定的だった。今後もより一層満足していただけるよう努めていきたい。

2-8. 開館時間



その他の意見（授業期）：

- 可能な限り長い開放時間の確保を希望。これは自習スペースとしての利用を目的としているので、図書の貸出ができない時間帯があっても構わない。（戸畑学生）
- 朝の時間帯を有意義に利活用したいため、午前 6 時頃から開館していただけると非常に嬉しいです。（新聞などリアルタイム性が重要な情報は特に当日の朝のうちに仕入れたい）（戸畑学生）
- 試験期間でなくとも、図書館に籠って集中して学習したいというときは多い。なので、授業期も 22:00 まで開館して欲しい。他所の大学の図書館をみると、20:00 以降も開いているところが多いのに、どうして九工大は 20:00 までなのだろうか。（飯塚学生）
- 早稲田大学とかのように一日中開けてほしい。（飯塚学生）
- スクールバスがある時間まで開館してほしい。（飯塚学生）
- 図書館の構造上難しいかもしれませんが、他大学のように、24 時間自由に出入りでき自習できるスペースがあるといいなと思います(九大の馬出図書館にはそのようなスペースがあり、学生は自由に勉強できていました)。せめて平日夜の開館時間を延ばして下さると嬉しいです(例:21 時や 22 時まで)。（飯塚学生）

その他の意見（試験期）：

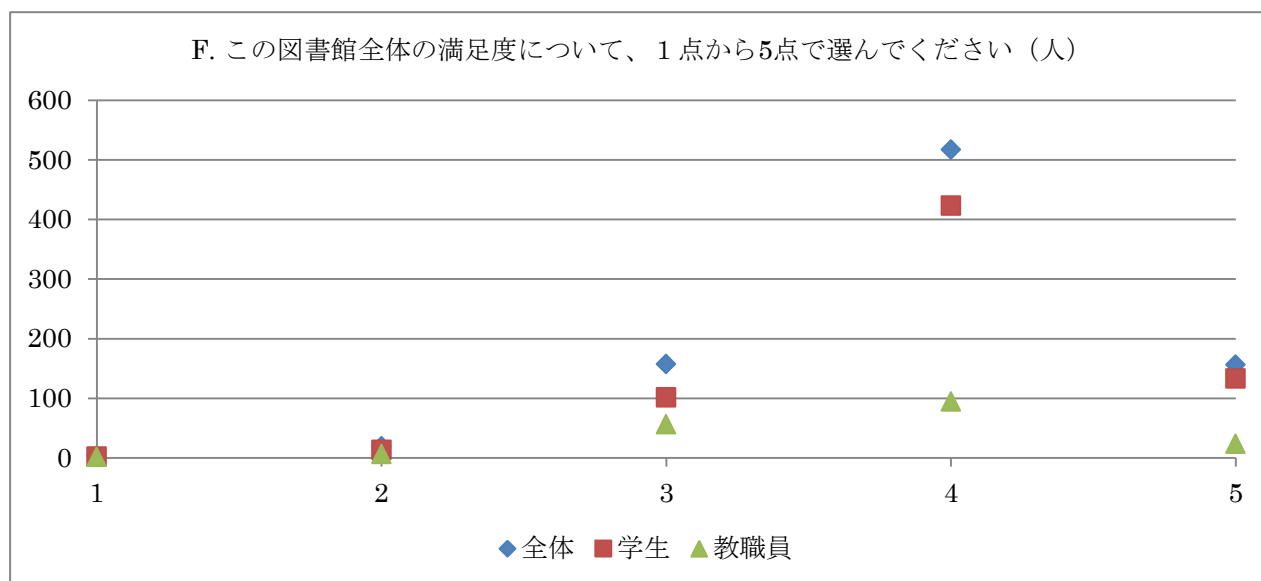
- 試験期間の開館日を増やして欲しい。学年暦ではテスト期間が終わっていても、実際はまだテストをしている時も多いから。（戸畑学生）
- 食事に行った後に、借りに行こうと思っていたら閉まっているため長く開いていると嬉しいです。（戸畑学生）

その他の意見（休業期）：

- 休業期でも 19:00 までに利用できると助かる、もしくはその期間中スタッフは無人でも教職員のみ入れるようにしてほしい。（戸畑教職員）
- 勤務後に利用できないので、もう少し長く開館していただけると嬉しいです。（戸畑教職員）
- 365 日 24 時間開館してほしい。（戸畑教職員）
- 平日に近い時間にして欲しい。（飯塚教職員）

◆ 開館時間について、8 割弱の回答者が満足していると回答しているものの、残りの 2 割の回答者からは様々な具体的な要望が寄せられている。学生では授業期の、教職員では休業期の閉館時間を遅くしてほしいという要望が最も多い。

2-9. 全体満足度調査



◆ 全体満足度評価は4点（517人）3点（157人）5点（156人）の順で多く、平均値は3.9点だった。前回の平均3.8点よりやや向上している。

アンケート全体を通して、学生・院生・教職員では図書館の利用方法・利用時間に違いがあるため、それぞれの利用者の学習や研究を支援できるようきめ細やかな対応が必要であるとともに、電子資料の充実とインターフェースの改善、学術情報発信のサポート、充実したグループ学習が行えるような環境づくり、より効果的なリテラシー教育の実現などが、今後の課題である。

2-10. 自由記述による意見

統計（質的調査）

項目	内訳	戸畑	飯塚	若松	計
01 資料		23	23	0	46
	01 図書	8	13	0	21
	02 雑誌	2	1	0	3
	03 視聴覚資料	5	1	0	6
	04 新聞	1	0	0	1
	05 新刊	3	3	0	6
	06 研究用図書	1	4	0	5
	07 電子資料	2	1	0	3
	08 選書	1	0	0	1
02 施設・設備		33	43	0	76
	01 空調	5	7	0	12
	02 グループ学習	4	0	0	4
	03 トイレ	4	0	0	4
	04 充電	4	1	0	5
	05 飲食	3	2	0	5
	06 閲覧席	0	13	0	13
	07 臨時講義室	0	7	0	7
	08 個人用閲覧席	1	5	0	6
	09 増築	0	2	0	2
	10 カフェラウンジ	1	0	0	1
	11 コピー機	1	0	0	1
	12 AVコーナー	1	0	0	1
	13 ネットワーク	1	0	0	1
	14 AVブース	1	0	0	1
	15 個室	1	2	0	3
	16 ラーニングcommons	1	0	0	1
	17 その他	5	4	0	9
03 開館時間・休日開館		6	3	0	9
	01 時間延長(朝)	2	1	0	3
	02 時間延長(夜)	1	1	0	2
	03 24時間開館	2	1	0	3
	04 休日開館	1	0	0	1

項目	内訳	戸畑	飯塚	若松	計
04 サービス		8	3	0	11
	01 リクエスト	2	1	0	3
	02 キャンパス間貸出	1	0	0	1
	03 貸出期間	1	1	0	2
	04 その他	4	1	0	5
05 ウェブサービス		8	6	0	14
	01 資料の検索	4	0	0	4
	02 キャンパス間貸出	3	3	0	6
	03 リクエスト	1	1	0	2
	04 情報サービス	0	1	0	1
	05 レスポンス	0	1	0	1
06 肯定的意見		19	13	1	33
	01 お礼	8	8	1	17
	02 接遇	2	1	0	3
	03 資料	2	4	0	6
	04 イベント	2	0	0	2
	05 施設・設備	1	0	0	1
	06 サービス	1	0	0	1
	07 その他	3	0	0	3
07 利用マナー		3	1	0	4
	01 私語	2	1	0	3
	02 延滞	1	0	0	1
08 その他		4	1	0	5
	01 学外者の利用	3	0	0	3
	02 配架	1	0	0	1
	03 その他	0	1	0	1
総計		104	93	1	198

◆自由記述による意見事例（抜粋）

【01 資料】

- 専門書の最新版がないと困るときがある。一冊あれば、昔の版との違いを確認でき、見たいところが最新版でなくてもよければ、古い専門書も有効に使える。（戸畑学生）
- 工業大学という特徴から、最も利用頻度の高い、理工学に関する図書を下の階に、語学など教養や文系関係の図書を上階に配置し直してほしいです。具体的には、現在の2階と3階を入れ替えていただきたい。（戸畑学生）
- 規模の問題もあるとは思いますが、戸畑の本館の方に複数冊所蔵されている資料が飯塚の分館の

方には1冊も所蔵されていないというケースがあり、特に人文系のレポート作成の際に不便と思いました。そのような偏りをできるだけなくしてほしいと思います。(飯塚学生)

- 授業で使う本は、なるべく複数冊用意してほしいです。いつも早い者勝ちになっています。(飯塚学生)
- 電子ジャーナル選定方法がこれまで不透明であり、雑誌決定方法に多くの本学教員が強い憤りと不満をもっている。早急に是正すべきである。本学の弱点として、研究能力を上げるべく、学長以下執行部が注力しているところであるが、肝心の研究の基本となる関連論文がまともに読めない現状は、非常に問題である。このままでは研究業績をあげている優秀な教員が本学から出て行くことになりかねず、大学として早急に対策を講じるべきである。(戸畑教職員)
- 20年以上前に購入し、内容的にも物理的にも寿命を過ぎた研究用図書の存在を毎年確認させられるのは苦痛。早く廃棄にしたい。(飯塚教職員)

【02 施設・設備】

- 本があるので難しいと思いますが空気の清浄度がとても気になります。長時間勉強すると必ず鼻水が出るようになります。本当に改善していただきたいです。(戸畑学生)
- 私は週に2.3回ほど図書館を利用しています。二、三階の学習スペースは静かで非常に勉強に集中できる環境であると感じています。また1階は共同で学習できるスペースやパソコンを利用できるのは非常に役に立っています。しかし資料を印刷しようと思った時にコピー機が利用できないのが改善してほしい点です。(戸畑学生)
- 飯塚図書館の工事を早く終わらせてほしい。大手予備校のような感じで仕切りのある勉強環境、個室など気分によって環境を変えられる勉強環境を用意してほしい。この大学の課題は多いので、夜間でもフレキシブルに図書館を利用したい。(飯塚学生)
- 自習スペースが狭くなったため、本当に利用したい人が利用しづらくなっている。仕切りができた部分も使えるようにしてほしい。(飯塚学生)
- 返却するだけなら、ゲートを通らないようにしてほしい。TSUTAYAみたいに、開いているときにも返却ポストがほしいです。(飯塚学生)
- 飲み物が飲めるスペースがあると良いと思います。(戸畑教職員)
- 自動貸出登録機械が使いにくいので、改造可能であれば、職員の負担が減ると思います。(飯塚教職員)

【03 開館時間・休日開館】

- 主にテスト期間に利用させてもらってます！もう少し遅くまで開けて欲しいです！(戸畑学生)
- 勉強する場所として図書館を利用させていただいていましたが、開放時間に不自由を感じる事が多かったです。特に、研究室に配属されていない学部1.2.3年の生徒にとっては、現状、自宅以外に勉強する場を確保するのは難しいと思います。日本でもいくつかの大学は24時間開放しているとの話を聞いたことがあります。貸出返却可能時間とは別に、自習スペースとしての開放が増えれば良いかなと思います。(戸畑学生)
- 閉館時間を20時から24時以降にするか、もっと遅くまで開けてほしい。(飯塚学生)

【04 サービス】

- 貸出延長の時もスタンプが欲しいです。(戸畑学生)
- 一階の図書のコーナーが面白いので、ぜひ続けて欲しいです。(戸畑学生)
- 春休み期間中も夏休み期間中のように本の貸出日数を多少伸ばして欲しいと感じました。(飯塚学生)

【05 ウェブサービス】

- オンラインで戸畑飯塚間の文献の取り寄せができるの良い。(戸畑学生)
- 本館の資料(貸出中ではないもの)を、web で取り寄せることができれば便利だと思います。(飯塚学生)
- ホームページの「九州工業大学の資料を探す」の項目に「視聴覚資料」の分類を作って欲しい。(戸畑教職員)
- マイライブラリの機能はほぼ満足しているのですが、反応が遅すぎ使いにくいので、次期システムでは改善してほしいです。(飯塚教職員)

【06 利用マナー】

- 新しい本もたくさん入っており、学習スペースも広く概ね満足しているが、試験期間の利用者が急増するときに、2階や3階の私語禁止フロアで話すマナーの悪い人が多いため、学習の妨げになっていて困っているので対処して欲しい。(戸畑学生)
- テスト期間中になると普段利用しない人もたくさんくるので、入ってすぐのグループ学習できるスペースだけでは入り切らず、上の階の個人向けのスペースで話しながら勉強される方がいるのが少しだけ気になります。(飯塚学生)

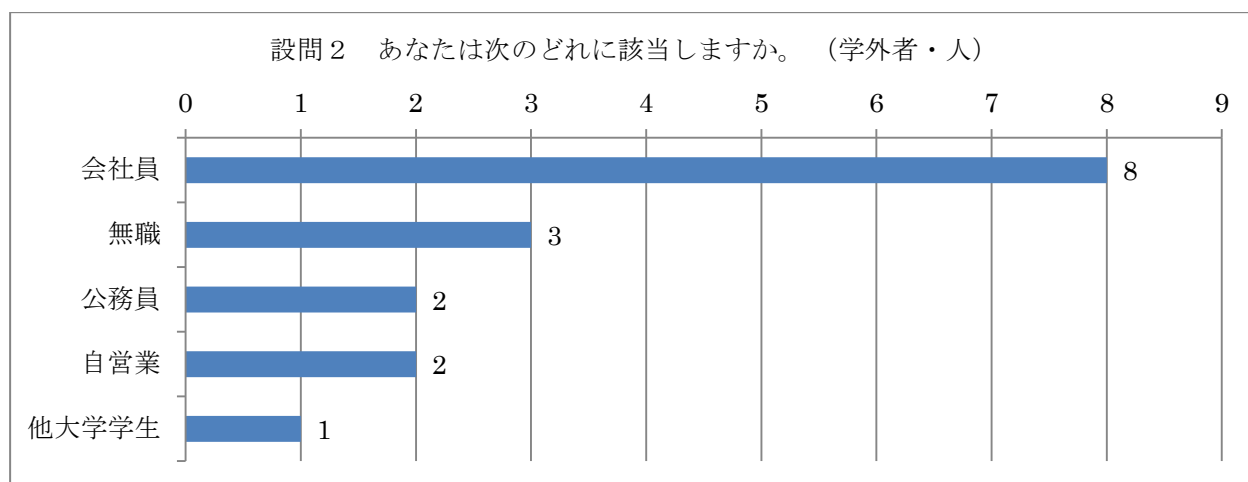
【07 肯定的意見】

- 学外の友人や知人を九工大に招いた際、毎回必ず紹介してしまうほど自慢の図書館です。(戸畑学生)
- 私は図書館で開催されたプログラミングの学習会で先輩の説明がとても分かりやすく、大変ためになりました。最近ではMATLABもやっているのをみて、研究に役立つことをやられていると思います。今後とも頑張ってください！！(戸畑学生)
- 平日はほぼ毎日利用させて頂いております。専門書から話題作に至るまでバランスよく所蔵されていますし、映画のDVDも借りられますし、スタッフさんも親切ですし、学内で一番好きな場所です。(飯塚学生)
- 色々と改善し続けているところがよいと思います。10年以上前に本学に赴任したときからは、サービスが大分変わったと思います。(戸畑教職員)
- 図書館スタッフの方には、いつも大変お世話になっております。今後も、これまで同様のサービスを提供いただけるのであれば、満足です。(飯塚教職員)

【08 その他】

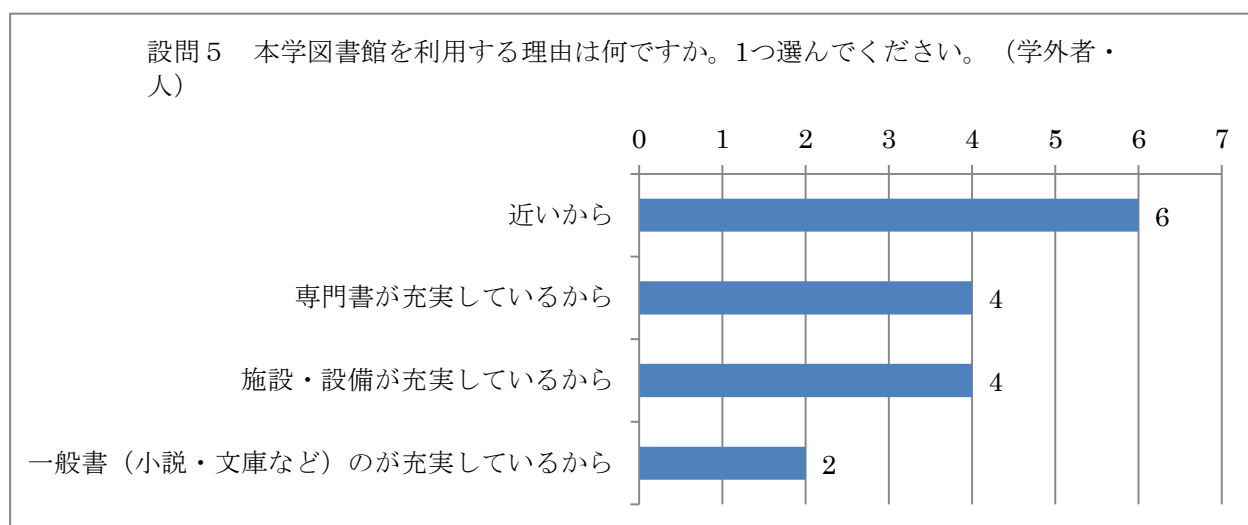
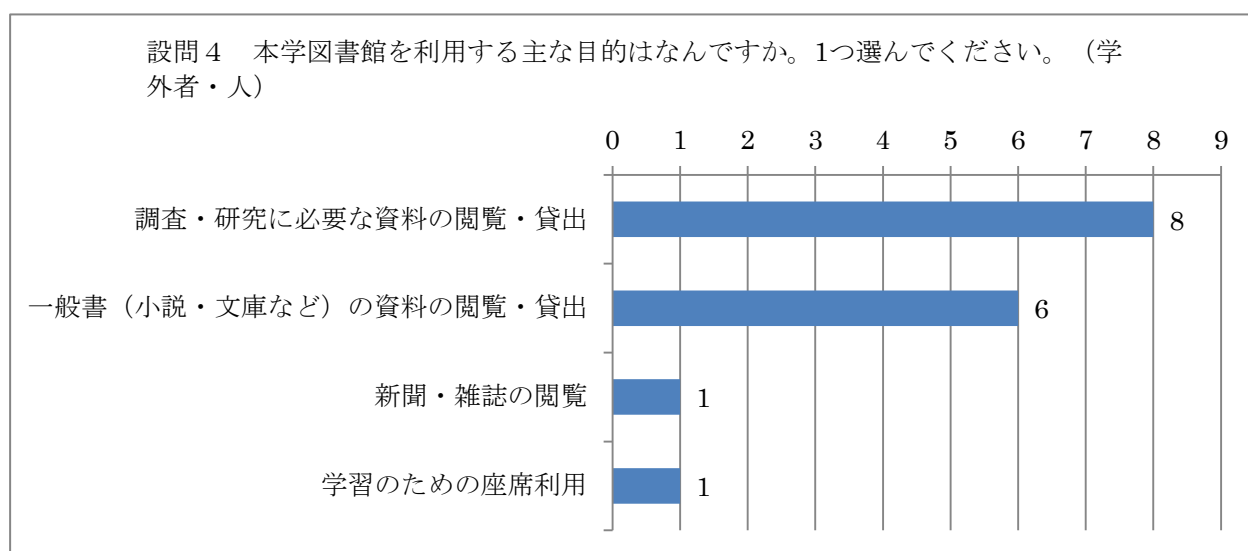
- 部外者の入館を制限すべき。九州工業大学附属図書館は、学校関係者のためのものであると思う。地域の人々への貢献は、地域の図書館で十分である。(戸畑学生)
- 試験期間は利用者が多く、良いことなのですが、個人としてはゆっくりできず、あまりその期間は利用しません。(飯塚学生)
- 近隣住民も気軽に利用できるよう開かれた図書館にして欲しい。(戸畑教職員)

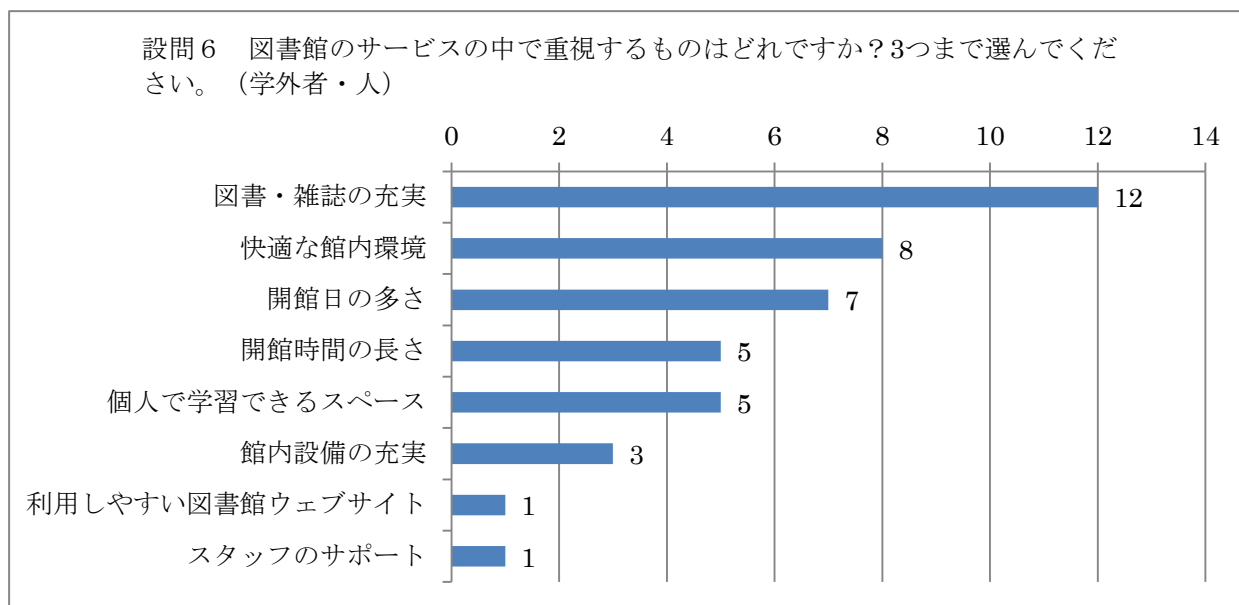
2-11. 学外者



設問3 普段利用している図書館はどちらですか。

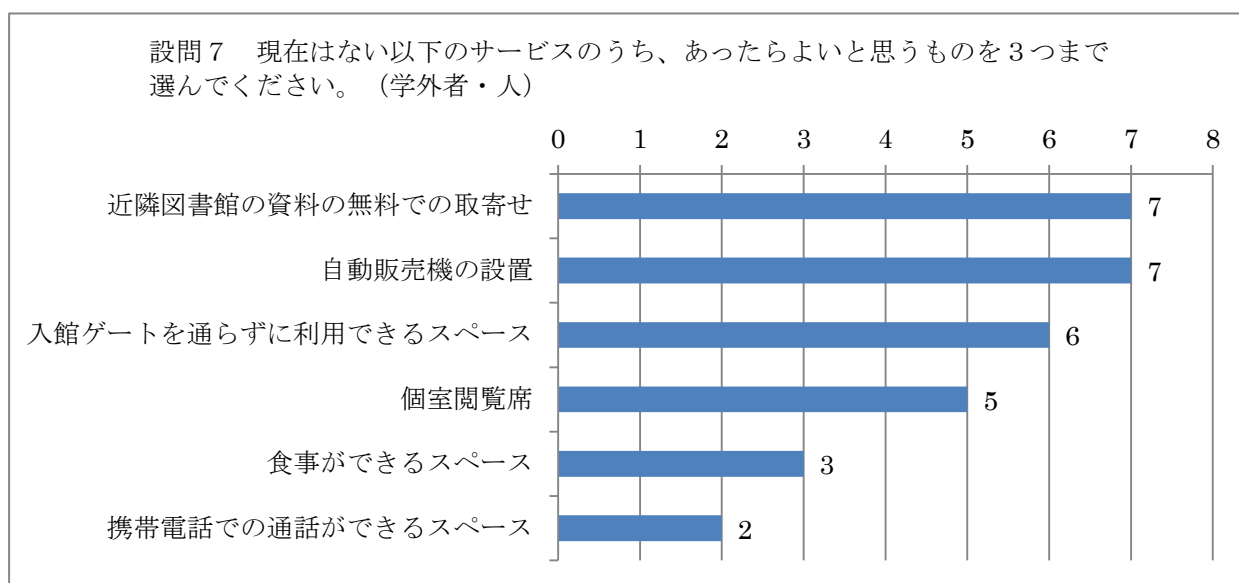
戸畑本館 16人





その他の意見：

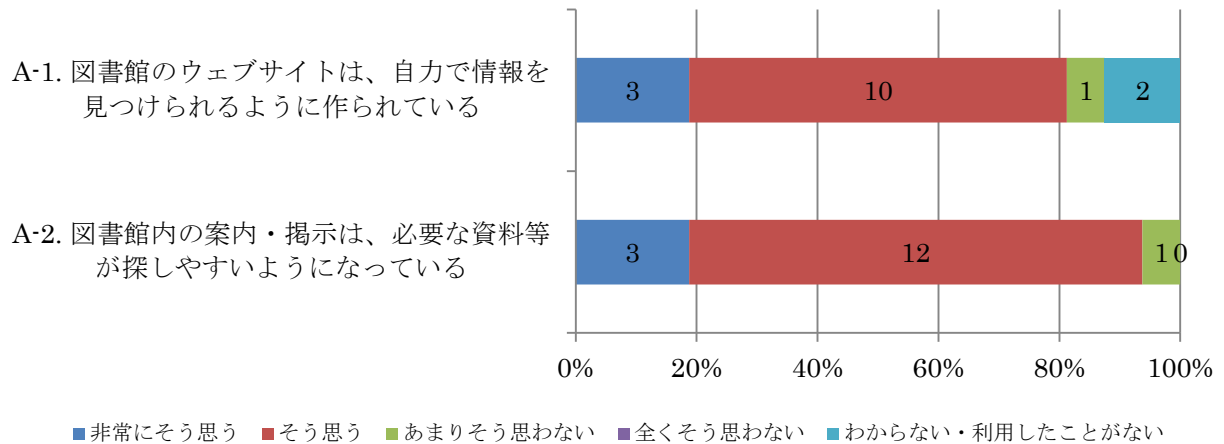
- 絶版されている優れた専門書を多数拝読できること。



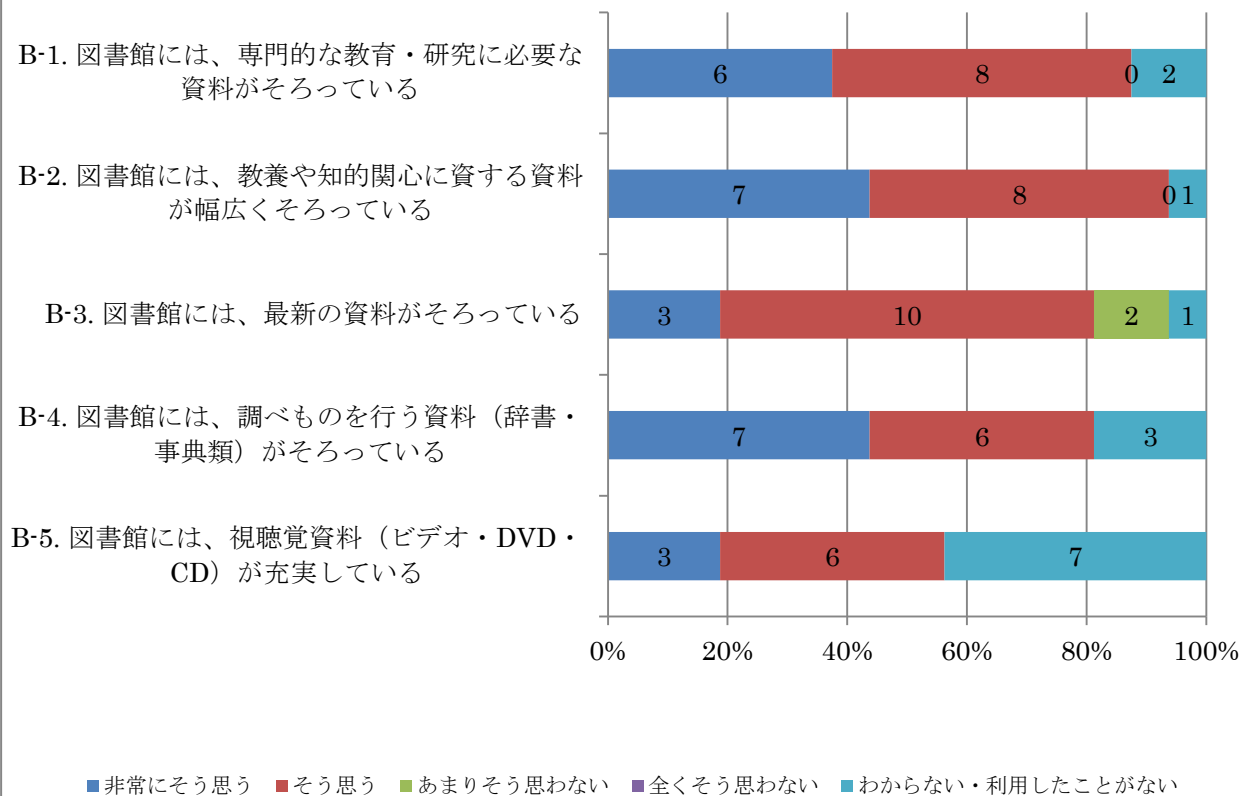
その他のご意見：

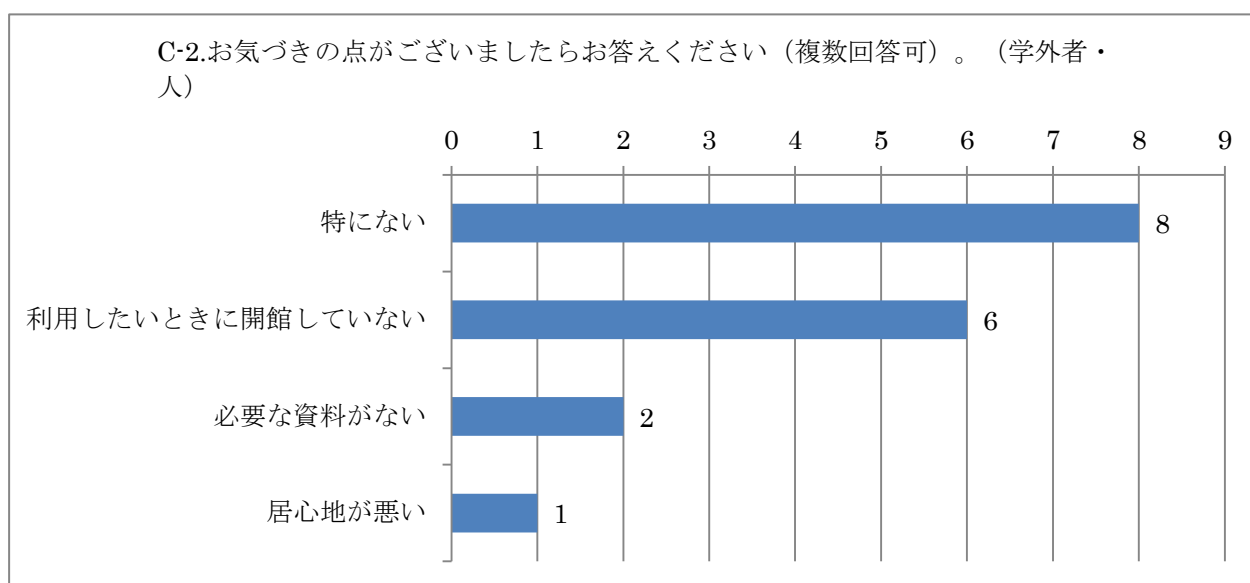
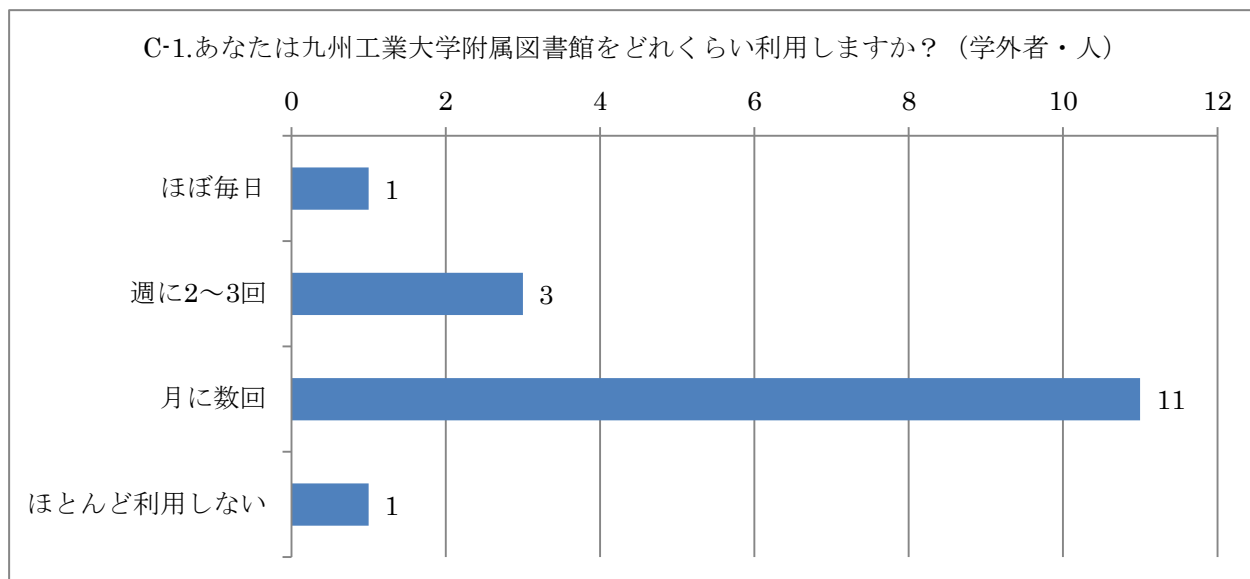
- 1冊だけでも良いのですが貸出期間を4週間に延長希望します。
- 入館しやすくしてほしい

A. 情報へのアクセス（学外者・人）



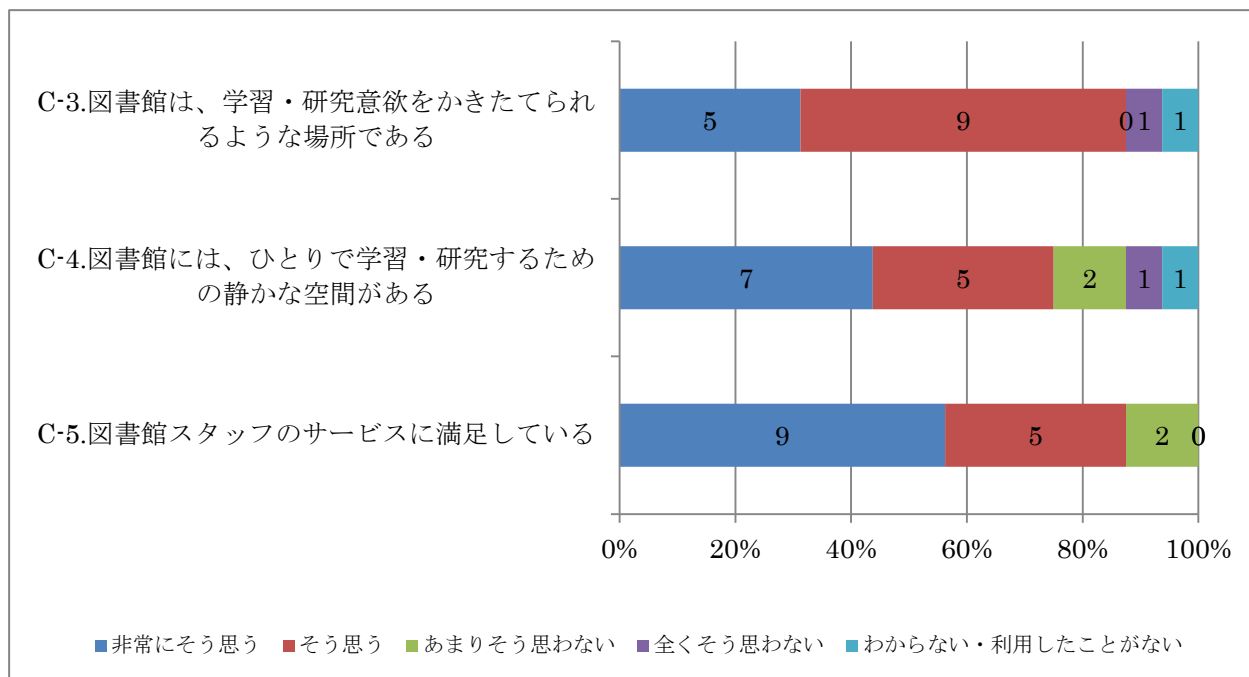
B. 学術情報資源の充実（学外者・人）





その他のご意見：

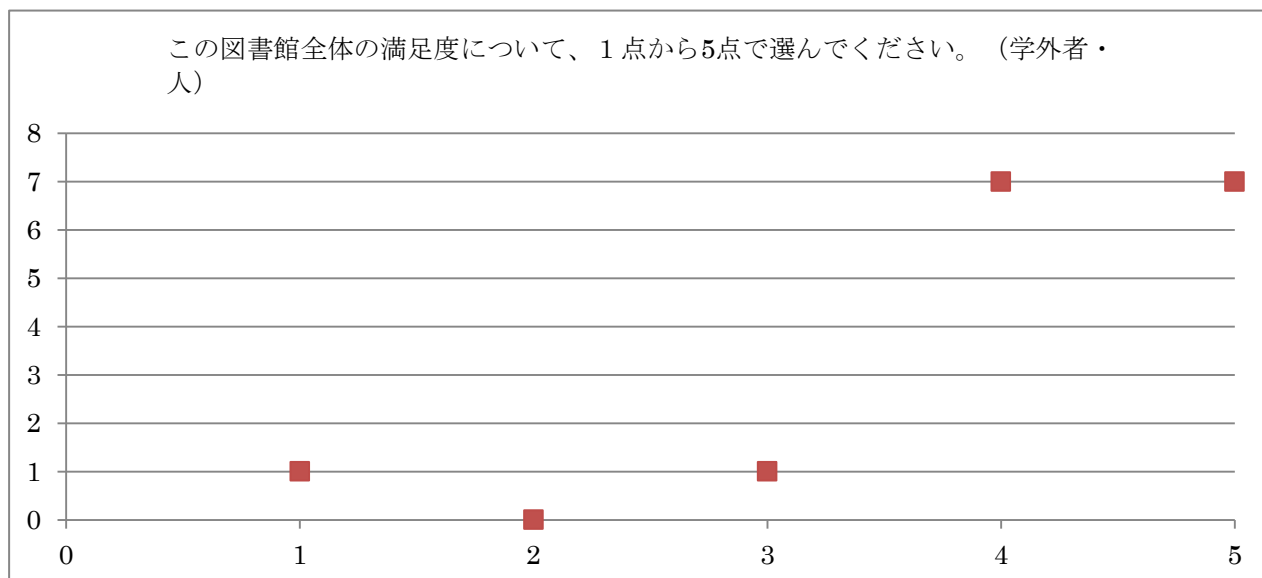
- 貸し出し期間がやや短い
- 貸出期間を1カ月にしてほしい。
- 大学のテスト期間中に一般の利用に制限があります。大学の図書館なので、学生が優先と思いますが、土日は、制限を解除できないでしょうか？
- 情報系の新しい資料が飯塚分館に集中しているが、学外者は取り寄せできない
- 気楽に講習会や視聴覚教材などの利用ができるようにしてほしい。



C-6.C-5 で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答された方は、理由をお答えください（自由回答）。

- ・ 非常に事務的な方が一部おられる。
- ・ 九工大自体が学外者の図書館サービス利用に積極でないから

D.全体満足度



その他、図書館へのご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入下さい

- 部外者にも、とても丁寧に接していただき、いつも恐縮しております。
- 入館時の氏名等の記載がなければより利用しやすいです。また、外部者のカードでも入口のゲートを通過できるようになると嬉しいです！！
- 利用日を増やしてほしい。
- 飯塚分館の資料取り寄せ、試験期間中の座席利用禁止の廃止
- いつもお世話になっております。貴大学図書館を利用する理由・メリットは以下の通りです。1. 数学・物理の専門書（多くは絶版書、貴学の先生の推薦本も多い）を充実していること（だけです）2. 貸出した専門書・演習書の多くは九工大の学生さんがほとんど貸出しされていないこと。1年位貸出しても、学生さんが利用することはないのではと思う位、書棚に名著と呼ばれる本が多数貸出できること。以上の理由で、視聴覚教材も含め学外者が積極的に利用できるような環境、仕組み作りをお願いします。